

Ⅲ 8つの政策と23の施策を進める個別事業

教育基本計画及び教育推進計画の政策・施策体系に沿い、各施策の個別事業について、事業内容、推進計画、期待されるアクション、必要な視点、前年度の実績及び評価等を掲載します。

- * 教育推進計画に掲載する事業
 - ① 市の推進計画（第2章）に掲載された教育政策に係る事業
 - ② 市の推進計画に掲載されていないが市教委として政策的に取り組む考えのある事業
 - ③ 経常経費に係る事業（市の推進計画には掲載されない）
- * 拡大事業の掲載方法について

市の推進計画では個別事業の継続分と拡大分を合わせて掲載していますが、教育推進計画では継続分と拡大分を別個に掲載します。

 - ・市の推進計画：拡大分を含めた事業として掲載している（【拡大】と併記）
 - ・教育推進計画：個別事業の継続分及び拡大分を別々に掲載している（拡大分には【拡大】と表記）

凡例（個別事業の推進計画及び評価）

教育推進計画事業コード 3-11-001
 政策通番-施策通番-事業番号
 着色(黄) → 市の推進計画に掲載された事業
 着色なし → 市の推進計画に掲載されていない事業

期待されるアクションと説明

必要とされる視点と説明
 ◎：不可欠な視点
 ○：必要な視点

数値目標、計算式などの成果指標

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | | | 期待されるアクション | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 | | |
|-------------------------------|--|--|--|--|------------|-----|-----------|--------------|--------------|-------------|------------|----------|---|-------|
| | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 慣く | 読む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 医学官医 の進路 | 地域の 教育力 | | 総合的な 教育施策 | |
| 3-11-001 学校等における 活動支援事業 | 教職員の資質向上と教育 内容及び学校経営の充実 を図るため教育関係団体 で行う事業費の一部を支 援する。 | 教育研究会、小中 学校校務会、小中 学校教頭会に助成 進路指導連絡協議 会に助成 | 教育研究会、小中 学校校務会、小中 学校教頭会に助成 進路指導連絡協議 会に助成 | 教育研究会、小中 学校校務会、小中 学校教頭会に助成 進路指導連絡協議 会に助成 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | | 平成24年度実績 教育研究会に助成 3,654千円 小中学校校務会に 助成400千円 小中学校教頭会に 助成300千円 進路指導連絡協議 会に助成76千円 | |
| 市計画(216) 教育総務課 | 事業費(千円) | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 4,430 |

事業名・市計画
番号・担当課
事業内容・市計画判定・
3年間の計画内容
・計画番号のある事業は市の推進計画掲載事業

前年度事業のアクション・視点に対する
評価及び説明
 (評価A：できている、評価B：ある程度
できている、評価C：できていない)

・前年度事業
の実績
・市計画判定
・決算額

■ 灰色帯：市の推進計画に掲載されていない事業 ■ 赤帯：経常経費に係る事業

政策1 やさしく支えあう教育連携の推進

施策1 家庭の教育力向上への支援内容の充実

施策2 教育相談体制の充実

施策3 地域が支える健全育成活動の充実

【施策1 家庭の教育力向上への支援内容の充実】

- 1 あたたかな家庭づくりへの支援の充実
- 2 地域を取り巻く社会環境の変化や氾濫する情報への対応など、家庭の教育力向上のための学習機会や市民・関係団体と連携し、家庭教育を支援する柔軟なネットワークを充実します。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | | | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 | |
|--------------|--|--|---|---|---|-----|------|--|--------------|-------------|------------|--------------|--|----------|
| | | | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | | |
| 1-01-001 | 家庭教育支援事業 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 広げる | 改善する | | | | | | | 平成24年度実績 |
| | 家庭での生活習慣の改善を目指し「生活シート」の取組みを行う。取組みの結果をもとに、課題や今後の方策を検討する。関係機関団体と共に家庭教育を支援する交流会を実施する。 | 家庭教育支援実践活動(きたひろしま生活シートの配布及び内容の調査)家庭教育交流会の開催 | 家庭教育支援実践活動(きたひろしま生活シートの配布及び内容の調査)家庭教育交流会の開催 | 家庭教育支援実践活動(きたひろしま生活シートの配布及び内容の調査)家庭教育交流会の開催 | 家庭での生活習慣を見直す取組みを実施し、取組みの結果をまとめ今後の支援内容を協議する。 | | | 各学校をはじめ、庁内の子育て担当部門等と連携し、事業を効果的に進めることが必要。学校・家庭・地域が一体となって家庭教育力の向上を目指す。 | | | | | 市内の小学校4年生と中学校1年生を対象として「きたひろしま生活シート」の取組みを実施 | |
| | | | | | 成果指標 事業の取組みによる生活習慣の変化の割合 | | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 A | | | | | | |
| | | | | | 生活シートの取組みにより、家庭での生活習慣を見直し、新たな改善を促すための機会を提供することができた。 | | | 生活シートの取組みの結果を調査・集計し、内容を広く公表する。結果をもとに、今後の課題や家庭教育支援の方策を検討した。 | | | | | | |
| 市計画<292> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 新規 | |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | 0 | |
| 1-01-002 | 北広島市PTA連合会支援事業 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | | 平成24年度実績 |
| | 児童生徒の健全育成を進めるため、学校毎のPTAの情報交換を図るとともに、保護者を対象とした研修会等を実施するPTA連合会の活動を支援する。 | PTA連合会への支援「第66回石狩管内PTA連合会研究会」及び「母親研修会」北広島大会の開催 | PTA連合会への支援 | PTA連合会への支援 | 連携支援による活発な活動の継続 | | | 学校、地域、家庭、行政が協働し青少年の健全育成を進める。 | | | | | PTA連合会へ補助金交付市P連母親研修大会(9月9日、参加人数144人)市P連研究大会(11月23日、参加人数168人) | |
| | | | | | 成果指標 研修会参加人数 | | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 A | | | | | | |
| | | | | | 連携支援を進め、活発な活動が展開された。 | | | 協働し青少年の健全育成を進めた。 | | | | | | |
| 市計画<255> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 | |
| 青少年課 | 事業費(千円) | 425 | 325 | 325 | | | | | | | | | 325 | |

【施策2 教育相談体制の充実】

- いじめ・不登校の問題を早期に解消するため、訪問指導アドバイザー(臨床心理士)、訪問相談員(メンタルフレンド)、スクールカウンセラー(道費)など専門的知識を有する人材を積極的に活用します。
- 不登校児童生徒の学校復帰に向け、「みらい塾」において学習指導や社会体験活動を行い、集団生活や社会適応能力の向上を図ります。
- インターネット上での新しい形のいじめやトラブル、犯罪被害を防ぐため、携帯電話の取扱いや情報モラルについて、児童生徒・保護者に対して啓発を図ります。
- 青少年を取り巻く諸問題の把握と早期解決に向け、学校や中央児童相談所などと連携を強化していきます。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 1-02-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | 平成24年度実績 | |
|------------------|--|---|--|---|--|--------------------------------|------|--|-----------|---|----------|---|
| 不登校対策・ 教育相談事業 | 不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立を支援するため、保護者や学校、関係機関と連携して、ひきこもりや不登校児童生徒の解消と未然防止を図る。児童生徒及びその保護者を対象に問題の早期解決を図るため、面談や家庭訪問による相談支援を行う。 | 適応指導教室「みらい塾」の運営 指導員の配置 訪問指導アドバイザー、教育相談員、訪問相談員による相談の実施 | 適応指導教室「みらい塾」の運営(建物再リース契約による減額) 指導員の配置 訪問指導アドバイザー、教育相談員、訪問相談員による相談の実施 | 適応指導教室「みらい塾」の運営 指導員の配置 訪問指導アドバイザー、教育相談員、訪問相談員による相談の実施 | 相談、支援を継続し、個々の状況に応じた適切な対応を進める。不登校など増加傾向にある、問題を抱える家庭に対して、迅速に対応できる支援体制の充実 | | | 複雑多様化する要因に対応できる支援体制 早期対応、早期解消を進めることができる体制の確保 学校、関係機関との連携体制 | | | | 適応指導教室「みらい塾」の運営 指導員の配置 訪問指導アドバイザー、教育相談員、訪問相談員による相談の実施 |
| | | | | | 成果指標 | 不登校児童生徒の割合と適応指導教室「みらい塾」通級児童生徒数 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | 平成24年度の評価 | A | | |
| | | | | | 個々の状況に応じた、相談、指導支援を進め、問題の解消を図った。 | | | 学校、関係機関と連携を図り、スクールカウンセラー、訪問指導アドバイザーなど専門的知識を有する人材を積極的に活用した。 | | | 拡大 | |
| 市計画<249> 青少年課 | 継続 事業費(千円) | 継続 14,936 | 継続 12,828 | 継続 12,828 | | | | | | | 14,332 | |

| 1-02-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | 平成24年度実績 | |
|------------------|--|--|--|--|--|----------|------|---|-----------|---|----------|--|
| 青少年健全育 成啓発事業 | 「地域の子どもは地域で育てる活動」を推進するため、学校、PTA、自治会、関係団体と連携し、地域に密着した青少年の健全育成活動の推進と健全育成の啓発を進める。 | 青少年健全育成大会の開催 安全安心講演会の開催 子どもサポートセンターだより「きずな」の発行 | 青少年健全育成大会の開催 安全安心講演会の開催 子どもサポートセンターだより「きずな」の発行 | 青少年健全育成大会の開催 安全安心講演会の開催 子どもサポートセンターだより「きずな」の発行 | 青少年をとりまく環境の変化に対応した啓発活動を進める。 | | | 各地域の特色を生かし、連携し育成活動を推進する。 | | | | 青少年健全育成大会の開催(6月24日、参加人数73人)子どもサポートセンターだより「きずな」の発行年4回 |
| | | | | | 成果指標 | 委員会の開催回数 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | 平成24年度の評価 | A | | |
| | | | | | 青少年健全育成大会の開催。子どもサポートセンターだより「きずな」の発行など啓発活動を進めた。 | | | 学校、PTA、地域、関係機関の協力による、青少年健全育成大会の開催。「きずな」の発行。 | | | 継続 | |
| 市計画<311> 青少年課 | 継続 事業費(千円) | 継続 338 | 継続 346 | 継続 346 | | | | | | | 308 | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 1-02-101 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|--|---|-------------------|-------------------|-------------------|--|---|------|---------------|---|-----------|----|-------------------------------------|
| いじめ等問題 対策委員会 (青少年健全 育成事務経 費) | いじめや不登校の実態把握 や改善策、防止対策に関し て調査審議する。 委員10名 | いじめ等問題対策委 員会開催 | いじめ等問題対策委 員会開催 | いじめ等問題対策委 員会開催 | いじめや不登校の問題に対して 改善策、防止対策の意見を求め る。 | | | 委員会の意見の反映 | | | | いじめ等問題対策 委員会の開催(7月 25日、3月14日) |
| | | | | | | | | 成果指標 委員会の開催回数 | | | | |
| | | | | | | | | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 委員会を開催して、いじめ、不 登校等について協議した。 | 情報モラル教育の推進、いじめアンケート調査の取 組について協議を進めた。 | | | | | 継続 | |
| 青少年課 | 事業費(千円) | 69 | 69 | 69 | | | | | | | 79 | |

【施策3 地域が支える健全育成活動の充実】

- 子どもサポートセンターの相談・支援機能を核として、家庭、学校、地域との連携を強化するとともに、地域の教育力の向上や各地区の健全育成活動を支援します。
- 各種大会や地域の安心安全講座などを通じて全市的な健全育成に関する意識の高揚を図ります。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | | | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|------------------|---|--|--|--|---|-----|------|---|--------------|-------------|------------|--------------|---|
| | | | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |
| 1-03-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 |
| 青少年健全育成連絡協議会支援事業 | 学校、家庭、地域が一体となり、地域で子どもを守り育み、安全安心な地域環境づくりをめざすため、6地区の青少年健全育成連絡協議会の活動を支援する。 | 青少年健全育成連絡協議会への支援 | 青少年健全育成連絡協議会への支援 | 青少年健全育成連絡協議会への支援 | 継続した支援により、各地区の活発な活動が生まれる。 | | | 学校、地域との連携 | | | | | 青少年健全育成連絡協議会への支援。 |
| | | | | | 成果指標 | | | 各地区交流活動等の開催数 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | A |
| | | | | | 各地域で、活発な活動が行われた。 | | | 各地域で交流事業、研修等が行われた。 | | | | | |
| 市計画<254> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 青少年課 | 事業費(千円) | 450 | 450 | 450 | | | | | | | | | 450 |
| 1-03-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 |
| 青少年安全対策事業 | 専任指導員を配置して関係機関や地域と連携を図り、青少年の非行防止を推進する。スクールガードリーダーによる学校施設、通学路等の安全確認及び巡回指導を行い、新たな通学路の安全確保を図るため、通学路安全指導員を配置する。 | 専任指導員、スクールガードリーダー、通学路安全指導員の配置 不審者情報のメール配信 | 専任指導員、スクールガードリーダー、通学路安全指導員の配置 不審者情報のメール配信 | 専任指導員、スクールガードリーダー、通学路安全指導員の配置 不審者情報のメール配信 | 地域の見守り活動と連携し、子どもたちの安全確保を進めて行く。 | | | 情報収集と迅速な情報提供 関係機関、地域との連携 | | | | | 専任指導員、スクールガードリーダー、通学路安全指導員の配置 不審者情報のメール配信(配信件数12件) |
| | | | | | 成果指標 | | | 不審者発生件数、問題行動の件数 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | A |
| | | | | | 地域の協力により、子どもたちの安全確保が図られた。 | | | 迅速な不審者情報の発信に努め、子どもたちの安全確保を図った。 | | | | | |
| 市計画<256> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 拡大 |
| 青少年課 | 事業費(千円) | 10,383 | 10,376 | 10,166 | | | | | | | | | 9,801 |
| 1-03-003 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 拡げる | 改善する | | | | | | 平成24年度実績 |
| 放課後子ども教室事業 | 放課後や長期休業中に小学校の余裕教室等を活用して、児童の活動拠点を設け、学習支援等の活動を行う。当面、大曲小学校においてモデル実施する。 | コーディネーター、安全管理員、学習アドバイザーを配置し、週1回程度開催 | コーディネーター、安全管理員、学習アドバイザーを配置し、週1回程度開催 | コーディネーター、安全管理員、学習アドバイザーを配置し、週1回程度開催 | モデル実施から実践へ向けて事業化する。 | | | 児童家庭課、学童クラブとの連携 | | | | | コーディネーター、安全管理員、学習アドバイザーを配置して開催。年間40回延べ参加児童数7,201名 |
| | | | | | 成果指標 | | | 参加児童数 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | A |
| | | | | | 放課後子どもの教室を開設。登録児童数が予想を上回り、実施方法を検討する必要がある。 | | | 学習支援(算数、国語)を中心に教室を開催。児童家庭課、学童クラブに対し、参加要請等の連携により平均して一日220名の児童が放課後子ども教室に参加している。 | | | | | |
| 市計画<312> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 新規 |
| 青少年課 | 事業費(千円) | 935 | 935 | 935 | | | | | | | | | 1,117 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 1-03-004 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 改善する | | | | | 平成24年度実績 | |
|----------|--|--------|--------|--------|---|--------------|------|---|--|--|---|---|--|
| 成人式開催事業 | 成人としての自覚と責任を促し、地域社会の一員としての期待を認識できるように成人式を実施する。 | 成人式の開催 | 成人式の開催 | 成人式の開催 | 若者のふるさと意識を醸成するという視点も重要。アトラクションの内容については、時代の流れに対応し改善していく。 | | | 地域づくり、まちづくりに貢献できる人材の育成は必要であり、より多くの若者が集うよう事業内容を改善していく。 | | | | 成人式の開催 (式典的な要素と交流的な要素を合わせて開催) 493名 参加 参加率80.0% (対象者 616名) | |
| | | | | | 成果指標 | 参加率(参加者/対象者) | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | | A | | |
| | | | | | 地域社会の一員として自覚を促し、郷土に対する愛着が持てるような内容の工夫を行った。 | | | 特定の対象者が集う催しとしては、極めて高い参加率であり、地域の一員としての自覚と参加を促すよう事業内容に工夫を施している。 | | | | | |
| 市計画<251> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | 継続 | |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 674 | 696 | 696 | | | | | | | | 636 | |

| 1-03-005 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|-------------|---|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---|-----|------|------------------------------|--|--|---|---|--|
| 青少年健全育成振興事業 | 子どもたちの豊かな心を育むため、生きる力を育て健やかでたくましい子どもたちを育成するための活動を推進する。 | 青春メッセージの開催 青少年体験交流事業への参加 | 青春メッセージの開催 青少年体験交流事業への参加 | 青春メッセージの開催 青少年体験交流事業への参加 | 様々な体験活動の提供により、子どもたちの豊かな心を育成する。 | | | 学校、地域と連携した事業の開催 | | | | 少年の主張石狩大会(7月18日、中学生1人)青春メッセージ(11月23日、参加人数250人)子ども会議(11月23日、中学生12人、参加者30人) | |
| | | | | | 成果指標 | 参加数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | | A | | |
| | | | | | 青春メッセージを開催及び少年の主張石狩大会への参加をとおりて豊かな心の育成が図られた。 | | | 学校、PTA、健連協と連携し、青春メッセージを開催した。 | | | | | |
| 市計画<253> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | 継続 | |
| 青少年課 | 事業費(千円) | 64 | 74 | 75 | | | | | | | | 71 | |

| 1-03-101 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|-------------------------------|-------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------------------|----------|------|---|--|--|---|------------------------|--|
| 青少年健全育成推進委員会 (青少年健全育成事務経費) | 青少年の健全育成に関し必要な事項を調査審議する。委員15名 | 青少年健全育成推進委員会の開催 | 青少年健全育成推進委員会の開催 | 青少年健全育成推進委員会の開催 | 健全育成施策の点検、意見を求める。 | | | 委員会の意見の反映 | | | | 青少年健全育成推進委員会の開催(6月13日) | |
| | | | | | 成果指標 | 委員会の開催回数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | | A | | |
| | | | | | 委員会を開催し、問題行動、適応指導等について協議した。 | | | 平成24年度子どもサポートセンター活動計画について意見を求め、了承のもと活動した。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | 継続 | |
| 青少年課 | 事業費(千円) | 120 | 120 | 120 | | | | | | | | 130 | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 1-03-102 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|----------------------------|-------------------------------------|------------|------------|------------|---------------------------|-----------|------------------------------|---|--|--|--|--|
| 青少年健全育成経費 (青少年健全育成事務経費) | 5地区広域補導連絡協議会・北海道青少年育成協会負担金 借上車経費 | 協議会・協会への参加 | 協議会・協会への参加 | 協議会・協会への参加 | 情報の収集・共有により健全育成施策を円滑に進める。 | | | | | | | 協議会総会（7月20日）協議会研修会（8月10日、11月2日、2月22日） 協会研修会（10月26日） |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 | 協議会への参加回数 | | | | | | |
| 青少年課 | 事業費(千円) | 513 | 513 | 513 | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | A | | | | 継続 |
| | | | | | 協議会総会に参加し、情報収集を進めた。 | | 研修会に参加、健全育成について近隣市町村と研修を進めた。 | | | | | 482 |

政策2 「生きる力」を育む学校教育の推進

施策4 幼児教育の振興・充実

施策5 豊かな心を育む教育の充実

施策6 確かな学力を育てる教育の充実

施策7 健やかな体を育てる教育の充実

施策8 特別支援教育の充実

施策9 社会の変化や課題に対応した教育の推進

【施策4 幼児教育の振興・充実】

- 多様な体験を重視した特色ある幼児教育を推進するとともに、障がい児の幼稚園への入園を促進します。
- 家庭・地域と幼稚園等の連携を重視するとともに、幼稚園、保育所、小学校の連携を推進します。
- 教育環境の向上、教職員研修の充実を図るため幼稚園活動への支援を行います。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-04-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 成果指標 | | | | | 平成24年度実績 |
|------------|--|---|-----------------------|-----------------------|-----------|--|--|--|--|---|
| 幼稚園就園奨励費事業 | 私立幼稚園に通園する市内在住園児の保護者に入園料、保育料等の減免措置を行う幼稚園の設置者に対し減免措置分を支援する。 | 入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成 対象園児820名 基準単価変更 | 入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成 | 入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成 | 平成24年度の評価 | | | | | 入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成 延べ対象者数 771人 |
| 市計画<200> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | 平成24年度の評価 |
| 児童家庭課 | 事業費(千円) | 89,423 | 81,035 | 81,035 | 平成24年度の評価 | | | | | 80,232 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-04-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | | | | | | 平成24年度実績 | | | | | | | | | | |
|-------------|--|----------------------------|----------------|----------------|---|--|--|--|--|----------|--|--|--|--|-----------|--|--|-----------|--|------------------------------|
| 幼稚園就園準備支援事業 | 幼稚園の実施する満2歳児を対象とした子育て支援事業の参加に対する、保護者負担を支援する。 | 子育て支援事業の参加費を助成 対象園児230名 | 子育て支援事業の参加費を助成 | 子育て支援事業の参加費を助成 | <table border="1"> <tr> <td colspan="5">成果指標</td> </tr> <tr> <td colspan="3">平成24年度の評価</td> <td colspan="2">平成24年度の評価</td> </tr> </table> | | | | | 成果指標 | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | 子育て支援事業の参加費を助成 延べ対象者数202人 |
| 成果指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市計画<201> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童家庭課 | 事業費(千円) | 1,148 | 1,058 | 1,058 | | | | | | 1,112 | | | | | | | | | | |

| 2-04-003 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | 平成24年度実績 |
|-----------|--|----------|----------|----------|----------------------------------|---------------------------------------|------|---|--|-----|----------|
| 幼稚園協会連携事業 | 市内私立幼稚園8園の連携、協力体制を強化し、幼児教育の振興を図るため、幼稚園協会を支援する。 | 幼稚園協会に助成 | 幼稚園協会に助成 | 幼稚園協会に助成 | 幼稚園教育振興のため、内容の確認を行いながら継続して助成を行う。 | 市内私立幼稚園の連携、協力体制を強化し、幼稚園教育の充実を図る必要がある。 | | | 幼稚園協会に補助金を交付。 園長研修(12回) 一般研修(2回) | | |
| | | | | | 成果指標 | | | 幼児教育の資質向上 | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | A | 平成24年度の評価 | | A | |
| 市計画<202> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 助成をすることにより、市内私立幼稚園の連携が図られた。 | | | 組織された幼稚園協会を中心に市内私立幼稚園の連携が強化され、幼児教育の振興が図られた。 | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 160 | 160 | 160 | | | | | | 160 | |

| 2-04-004 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 広げる | 改善する | | | | 平成24年度実績 |
|----------|---|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---|--|------|--|---------------------------------|-------|----------|
| 幼稚園振興事業 | 幼稚園教員の振興と保護者の負担軽減を図るため、幼稚園教員研修、教材教具の整備並びに障がい児の受け入れに係る経費を助成する。 | 私立幼稚園の設置者に対し、教材費及び職員研修などに助成 | 私立幼稚園の設置者に対し、教材費及び職員研修などに助成 | 私立幼稚園の設置者に対し、教材費及び職員研修などに助成 | 幼稚園経営の安定化、幼児教育の充実、保護者負担軽減の視点から、市内各幼稚園を支援する。 | 私立幼稚園の教育内容の充実を図るため教職員研修、障がい児教育、教材教具の充実などの支援が必要である。 | | | 私立幼稚園の設置者に対し、補助金を交付(教材費の補助額を拡大) | | |
| | | | | | 成果指標 | | | 教材購入・職員研修・障がい児保育の実績 | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | A | 平成24年度の評価 | | A | |
| 市計画<203> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 市内各幼稚園の特色ある教育に寄与した。 | | | 本来行政が行わなければならない幼児教育の領域を民間により補完することで幼児教育の充実が図られたが、より特色をもった教育が図られるよう支援の拡大が必要である。 | | | 拡大 |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 6,886 | 6,886 | 6,886 | | | | | | 6,886 | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-04-101 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|-------------------------------|--|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|-----|------|----------|-----------|---|-----------|---|----|
| 幼稚園・保育園・小学校連携推進事業 (教育振興経費) | 幼児教育から学校教育への移行にあたり、幼稚園、保育園、小学校が抱える問題点を整理するための懇話会を設置し、スムーズな移行を図るための連携、懇話及び研修を行う。 平成23年「幼児教育の連携に関する懇話会」を設置。 | 懇話会の開催 研修会の実施 「アクションプラン」の作成 | 懇話会の開催 研修会の実施 「アクションプラン」の実施 | 懇話会の開催 研修会の実施 「アクションプラン」の実施 | 幼児教育の振興・充実を図るとともに幼稚園・保育園から小学校への円滑な移行を図る。 | | | | | | | 7月に幼稚園、9月に小学校、12月に保育園の状況を参観、3月に今年度のまとめと今後の連携の在り方、方向性について意見交換を行った。 | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 | | | 会議等の開催回数 | | | | | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 0 | 0 | 0 | 幅広い関係者に「懇話会」へ参加してもらい、幼稚園、保育園、小学校の交流の実態について交流した。 | | | | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | A | 継続 |
| | | | | | | | | | | | | 0 | |

【施策5 豊かな心を育む教育の充実】

- 1 人を思いやる心や人とかかわる力を育てる豊かな体験活動を推進します。
- 2 基本的な倫理観や思いやりの心などを育む教育を推進します。
- 3 いじめ、不登校や様々な問題に適切な対応をするとともに、自他の理解を深め、よりよい人間関係を醸成する生徒指導を充実します。
- 4 豊かな感性や想像力を育む読書活動を推進します。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-05-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | 平成24年度実績 |
|----------|---|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--|-----|-------------|---|--|--|----------------------|
| 学校教育振興事業 | 児童生徒の「生きる力」を育み、自ら課題を見つけ、主体的、創造的に取り組む資質を養う総合学習、学校の創意工夫を活かした特色ある学校づくり、及び職業体験を通して社会人としての自立意識を育てるインターンシップ事業を推進する。 | 総合学習の実施 特色ある学校づくり 職場体験の実施 | 総合学習の実施 特色ある学校づくり 職場体験の実施 | 総合学習の実施 特色ある学校づくり 職場体験の実施 | 各校が独自の教育を推進するために継続して助成を行う。 | | | 児童生徒の「生きる力」を育み、社会性を身につける機会の充実を図るため、各校が自主性、独自性を生かした教育活動を行うことが必要である。 | | | 各小中学校教育振興協議会に補助金を交付。 |
| | | | | | 成果指標 総合学習の実施状況 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 A | | 平成24年度の評価 A | | | | |
| 市計画<301> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 各校の教育振興協議会に助成をすることにより、各校が主体的に教育効果のある活動を推進した。 | | | 各校が創意工夫を凝らした事業を活発に展開することで、児童生徒に様々な経験をさせる機会を提供し、知識の活用や豊かな心の育成に向けた取り組み推進した。 | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 7,534 | 7,534 | 7,534 | | | | | | | 7,534 |

| 2-05-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | 平成24年度実績 |
|---------------|---|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------------------|-----|-------------|----------------------------------|--|--|--|
| 創意発明工夫展・書写展事業 | 児童生徒の科学技術に対する興味関心を高め、創意・創造性を育成するとともに、日本伝統の毛筆・硬筆を通じて個性の伸長と豊かな情操の涵養を図るため、創意工夫展及び書写展を開催する。 | 創意発明工夫展の開催 書写展の開催 | 創意発明工夫展の開催 書写展の開催 | 創意発明工夫展の開催 書写展の開催 | 子どもたちの発想した作品を多くの市民に関心を寄せてもらう。 | | | 学校と連携し、子どもたちの柔軟なアイデアを育んでいく。 | | | 9月創意工夫展の開催。1月書写展の開催。 創意発明工夫展 出展者数 142人 書写展出展者数 355人 |
| | | | | | 成果指標 出展作品数 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 A | | 平成24年度の評価 A | | | | |
| 市計画<252> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 創意工夫展。書写展の開催し、子どもたちの作品を展示できた。 | | | 学校と連携して、開催をすすめた。優秀作品には、賞を授与し讃えた。 | | | 継続 |
| 青少年課 | 事業費(千円) | 180 | 187 | 187 | | | | | | | 186 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-05-003 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | 平成24年度実績 | |
|----------|---|--|--------------|--------------|---|-----|------|---|--|--|----------|--|
| 心の教育推進事業 | 児童・生徒に基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせるとともに、他人への思いやりや、生命を尊重する心の育成など、道徳の時間などを中心にした豊かな心を養う教育の充実を図るとともに教材資料の作成に取り組む。 | 福祉読本編集委員会の開催 福祉読本改訂版の作成、道徳教育用児童生徒用準教科書の購入、教師用指導書の購入 小学校3,190千円 中学校1,741千円 | 福祉読本編集委員会の開催 | 福祉読本編集委員会の開催 | 発達段階に応じて、規範意識や公正な判断力、生命・人間尊重の精神など子どもたち成長を育む教育の推進・充実。 | | | 道徳教育や、福祉・人権教育を行う上で参考となす教材資料の提供が必要である。 学校だけでなく、家庭、地域との連携した取り組みが必要である。 | | | | 福祉読本編集委員会の開催(2回) ・児童生徒の道徳教育準教科書の購入 小学校 23冊 |
| 成果指標 | 配布した教材資料の活用状況 | | | | | | | | | | | |
| 市計画<302> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 B | | | 継続 | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 4,931 | 60 | 80 | 福祉読本編集委員会を3回開催し、H22年度に作成した福祉読本「ともに生きる」の活用状況等について検討した。 | | | 各学校の活用状況を把握するとともに、今後より福祉読本の活用を図るための検討をすることができた。 | | | 21 | |

| 2-05-004 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | 平成24年度実績 | |
|----------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|-----|------|--|--|--|----------|--|
| 心の教室相談事業 | 児童生徒の悩みや不安、ストレス等の解消を図るとともに、いじめや不登校の未然防止と早期把握を図るため、小中学校に心の教室相談員を配置する。 | 小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置(1人当たり年間400時間) | 小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置(1人当たり年間400時間) | 小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置(1人当たり年間400時間) | 気軽に相談できる、相談しやすい体制づくり。 | | | 子どもたちとの信頼関係の構築 学校、スクールカウンセラー、子どもサポートセンター相談員との連携 | | | | 小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置(1人当たり年間400時間) 相談件数 小学校177件 中学校212件 |
| 成果指標 | 相談件数 | | | | | | | | | | | |
| 市計画<250> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 A | | | 継続 | |
| 青少年課 | 事業費(千円) | 6,190 | 6,223 | 6,223 | 相談員が相談しやすい体制づくりを進め、いじめや不登校の未然防止と早期発見に努めた。 | | | 不登校の要因は複雑多様化していることから、スクールカウンセラー等専門的知識を有する人材との連携を図った。 | | | 5,916 | |

| 2-05-005 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | 平成24年度実績 | |
|----------|--|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--|-----|------|---|--|--|----------|-----------------------------|
| 学校図書整備事業 | 学校図書館図書標準の冊数を維持しつつ、図書の更新や新規購入を行い図書の充実を図る。 全ての資料・利用者データを電算化し、システムで一括管理を行い、学校図書館の合理的な運用を行う。 | 図書の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ | 図書の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ | 図書の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ | 全校の図書充足率が100%に達した後は、資料更新を重点においた学校図書館の環境整備を図り、子どもたちの読書意欲を高める。 | | | 読書活動は、子どもたちの豊かな感性や想像力を育む上で必要である。 学校と市図書館、図書館司書との連携による魅力ある学校図書館整備(子どもたちが読みたいくなる本の提供含む)が必要である。 | | | | 図書の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ |
| 成果指標 | 一人あたり年間貸出冊数 | | | | | | | | | | | |
| 市計画<303> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 平成24年度の評価 B | | | 平成24年度の評価 B | | | 統合 | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 10,924 | 15,398 | 15,398 | 小中学校の図書充足率100%を達成したものの、資料更新を必要とする資料は約6割を占める。 | | | 学校図書館の環境整備はある程度進められているが、学校図書館活用の取り組みや読書指導の強化が今後の課題である。 | | | 10,681 | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|---|--|---|---|---|-------------------------|------|--|--|--|--|----------|
| 2-05-006 学校図書整備 事業 【拡大】 | 事業内容 小中学校に対し、2校に1名の配分で学校司書を派遣し、学校図書館の環境整備を図る。 司書教諭を中心とする学校との連携を強化し、授業に対する資料支援を行う。 | 平成25年度 「学校図書館活用プラン」策定 学校司書派遣に向けての検討。 | 平成26年度 中学校学校図書館に、2校に1名の配分で3名派遣。 計: 3名 | 平成27年度 小学校学校図書館においても、2校に1名の配分で4名派遣。 計: 7名 | めざす 学校司書派遣により、読書・学習・情報センターとしての学校図書機能の向上を図る。 | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
| | | | | | 学校と市図書館、図書館司書との連携による魅力ある学校図書整備（子どもたちが読みたくなる本の提供含む）が必要である。 | | | | | | | / |
| | | | | | 成果指標 | 一人あたりの年間貸出冊数 学校への団体貸出冊数 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | 平成24年度の評価 | | | | | | |
| 市計画< > | 拡大 | 拡大 | 拡大 | 拡大 | | | | | | | | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 0 | 3,032 | 6,478 | | | | | | | | |

【施策6 確かな学力を育てる教育の充実】

- 1 基礎・基本をしっかり身に付けさせ、それらを活用していく力を育てるために、個に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。
- 2 総合的な学習の時間を中心に、体験的・問題解決的及び探求的な学習を推進します。
- 3 学ぶ喜びや楽しさが実感できるような授業のあり方について実践的な研究を推進します。
- 4 学力検査等の結果を生かした授業方法の改善に努めます。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-06-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 拡げる | 改善する | | | | | 平成24年度実績 | | |
|-------------------|--|---------------|--------|--------|---|--------|------|--|--|--|--|--|--|-------------|
| 授業補助員活用事業 | 授業への関心度・理解度を高め、よりわかる授業の展開、学力向上を図るため、小中学校に担任のほかに授業補助員を配置する。また、中学校保健体育科での武道指導、音楽科での和楽器指導などについて、専門の外部講師を派遣し、指導の充実を図る。 | 学校支援地域本部事業に統合 | | | 複数体制によるきめ細やかな授業を行い、より子どもたちの学習意欲を高める指導方法の充実。 | | | | | | | 配置時間数の拡大とともに、学校支援地域本部事業との連携により効率化を図ることが必要である。専門的知識も持った人材の確保が必要である。 | 市内16学校に授業補助員を配置。指導の充実を図るため、199千円を増額し、事業の充実を図った。小学校9校1271時間 中学校7校747時間 | |
| 市計画<205> 社会教育課 | 統合 事業費(千円) | 統合 | | | 成果指標 | 制度活用状況 | | | | | | 平成24年度の評価 A | 平成24年度の評価 A | 継続 2,231 |
| | | | | | 各学校の要請に応じて、授業補助員を計画的に配置した。 | | | 学校支援地域本部事業に組み入れることで、学校からの受付窓口を統合し、効率化を図った。今後更に要請に応じた人材を確保していくことが必要である。 | | | | | | |

| 2-06-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | | |
|-------------------|---|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---|-----------|------|---|--|--|--|----------------------------|-----------------------------|-------------|
| 学校教育相談員活用事業 | 学校を取り巻く環境は非常に複雑化してきており、課題も指摘されていることから、それらの課題を的確に取り組んでいくために、専門的知識や経験豊富な教員経験者を配置する。 | 学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施 | 学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施 | 学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施 | 各学校長や教育委員会職員等への指導・助言、情報提供による社会の変化に対応した学校経営等の充実。 | | | | | | | 今日的な教育課題の解決のための指導助言が必要である。 | 学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施 | |
| 市計画<304> 学校教育課 | 継続 事業費(千円) | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 | 各学校への訪問回数 | | | | | | 平成24年度の評価 A | 平成24年度の評価 A | 継続 2,450 |
| | | | | | 必要に応じて、各学校への訪問や指導・助言、情報提供等を行った。 | | | 指導主事的な立場で各学校への指導・助言を行うとともに、学校経営の充実や課題職員の資質向上を図るための研修計画、学校教育推進の方針の作成など、学校教育の充実が図られている。 | | | | | | |

【施策7 健やかな体を育てる教育の充実】

- 健康に必要な知識・実践的な態度を身につけるために、保健教育や体力向上の取組みを推進します。
- 望ましい食習慣を身につけ、家庭や地域と連携した食育を推進します。
- 安全で安心な給食を提供する取組みを進めるとともに、施設・設備の整備を進めます。
- 児童生徒が安心して学校生活が過ごせるよう、地域ぐるみで安全・安心な環境づくりを推進します。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-07-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|-------------|---|--|--|--|-------------------------------|-----|------|---|--|---|---|--|-----------------|
| 中学校体育連盟支援事業 | 中学校体育連盟が実施する市内、管内大会を通じて中学生の体位、体力の向上、スポーツに対する意識の向上と心身の健全な育成を図るため、交付金を交付する。 | 中体連春季大会の開催 中体連秋季大会の開催 石狩管内中体連の開催 | 中体連春季大会の開催 中体連秋季大会の開催 石狩管内中体連の開催 | 中体連春季大会の開催 中体連秋季大会の開催 石狩管内中体連の開催 | 中学校における体育部活動振興のため継続して助成を行う。 | | | | | | | 中学校における体育振興、生徒間の交流、スポーツに対する意識の向上と心身の健全な育成が必要である。 | 中学校体育連盟に交付金を交付。 |
| 市計画<223> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 実施種目数 | | | 平成24年度の評価 | | A | A | 継続 | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 3,279 | 3,289 | 3,289 | 円滑に中体連大会を運営できるよう中体連に対し助成を行った。 | | | 平成24年度の評価 | | A | A | 3,169 | |
| | | | | | | | | 心身の健全な育成を図り、生徒間の交流や習得した技能を発揮する場を提供するとともに、市内のスポーツ振興と本市の教育の振興に寄与することができた。 | | | | | |

| 2-07-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|--------------------------|---|--|--|--|--|-----|------|------------------------------|--|---|---|---|--|
| 全国全道中体連・中学校文化部活動大会出場支援事業 | 市立中学校の生徒が、日本または北海道中体連が主催する大会に出場する場合や予選会等を経て全道的な規模以上の文化部活動大会等に参加する場合、その派遣に要する費用の一部を助成する。 | 全国・全道中体連大会に出場する場合の経費を助成 全道規模以上の文化部の大会に出場する経費を助成 (中体連選手強化費を廃止し、交通費等については原則全額支給) | 全国・全道中体連大会に出場する場合の経費を助成 全道規模以上の文化部の大会に出場する経費を助成 | 全国・全道中体連大会に出場する場合の経費を助成 全道規模以上の文化部の大会に出場する経費を助成 | 中学生が部活動に対し十分な活動ができるよう支援し、部活動を活性化させる。 | | | | | | | 中学校における部活動の活性化と併せて、保護者負担の軽減を図ることが必要である。 | 中体連全道大会 34名出場 中体連全国大会 4名出場 文化部活動全道大会 1団体出場(大曲中学校吹奏楽部) |
| 市計画<225> | 継続 | 見直し | 継続 | 継続 | 成果指標 大会出場生徒数 | | | 平成24年度の評価 | | A | A | 統合 | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 2,100 | 2,250 | 2,250 | 全国・全国中体連大会や予選を経た全道規模以上の文化部活動大会への出場をめざし、活動が活性化している。 | | | 平成24年度の評価 | | A | A | 1,572 | |
| | | | | | | | | 保護者の負担を軽減するとともに部活動の活性化が図られた。 | | | | | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | | | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|--|--|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-07-003 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|--|---------------------|---------------------|--|--|-------------|------|---|--|--|--|---|------------------------|
| 食に関する指導の推進事業 | 児童・生徒が生涯にわたり健康な生活を送ることができるよう、学校給食、教科等の時間の中で、自分で健康を考える力を育むため、食に関する指導の充実を図る。 | 学校栄養教諭による食に関する指導の実施 | 学校栄養教諭による食に関する指導の実施 | 学校栄養教諭による食に関する指導の実施 「食の課題と指導の手引き」改訂版の作成 | 児童・生徒が健康な生活を送るために食習慣や食に関する自己管理能力等を身につけることを目指す。 | | | 児童・生徒に学校栄養教諭・教諭が教科・給食時間などで食に関する指導を行う。また、家庭・地域と連携を図り取組の充実を図る。 | | | | | 学校栄養教諭による食に関する指導を実施した。 |
| | | | | | 成果指標 | 食に関する授業実施時数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | 平成24年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 望ましい食習慣を身につけ、自身の健康を維持していくための食指導を実施した。 | | | 「食の課題と指導の手引き」を活用し、給食の時間、教科指導の時間に栄養教諭が中心となり指導を行った。栄養教諭の人員や他業務との関係から十分な時数が確保できていない。 | | | | | |
| 市計画<208> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 給食センター | 事業費(千円) | 56 | 60 | 480 | | | | | | | | | 60 |

| 2-07-004 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 |
|-------------------------------------|---|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---|---------|------|--|--|--|--|---|---|
| 学校給食衛生管理事業 [事業名変更] 食中毒等予防対策事業 | 給食を実施するうえで、食品等の安全衛生管理が最も重要であることから、施設設備機器類を整備、更新するとともに微生物検査等を実施し、徹底した衛生管理を実施して安全で安心な給食を提供する。 | 給食用食品の微生物検査の実施 保温食缶、配膳用備品の更新 | 給食用食品の微生物検査の実施 保温食缶、配膳用備品の更新 | 給食用食品の微生物検査の実施 保温食缶、配膳用備品の更新 | 衛生管理を徹底するために設備機器を整備・更新し、安心・安全な給食を提供する。 | | | 施設設備機器類を計画的に更新し、衛生管理体制の充実を図る。 | | | | | 食材の微生物検査及び設備・備品の更新を実施 食缶洗浄機借上1台 保温食缶更新39個 コンテナ更新3台 |
| | | | | | 成果指標 | 設備機器更新率 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | B | | 平成24年度の評価 | | | | B | |
| | | | | | 老朽化した施設、設備機器、備品等を計画的に更新するとともに、食品中の微生物検査を実施した。 | | | 備品等の老朽化が進んでいるが、更新がそれに追いついていない状況にある。今後も引き続き計画的な更新が必要となってくる。 | | | | | |
| 市計画<207> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 給食センター | 事業費(千円) | 2,645 | 2,496 | 2,496 | | | | | | | | | 2,385 |

| 2-07-004-1 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 |
|---|---|---------------|---------------|---------------|-------------------------------------|-----------|------|--------------------------------|--|--|--|--|----------|
| 学校給食衛生管理事業 [拡大] [事業名変更] 食中毒等予防対策事業 | 給食を実施するうえで、食品の安全衛生管理が最も重要であることから、施設設備機器類を整備するとともに微生物検査等を実施し、徹底した食中毒等予防対策を実施して安全で安心な給食を提供する。 | 保温食缶、配膳用備品の更新 | 保温食缶、配膳用備品の更新 | 保温食缶、配膳用備品の更新 | 衛生管理を徹底するために設備機器を整備し、安心・安全な給食を提供する。 | | | 施設設備機器類を計画的に更新し衛生管理体制の充実強化を図る。 | | | | | |
| | | | | | 成果指標 | 設備機器更新率 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | 平成24年度の評価 | | | | | | | |
| 市計画< > | 拡大 | 拡大 | 拡大 | 継続 | | | | | | | | | |
| 給食センター | 事業費(千円) | 0 | 3,817 | 4,374 | | | | | | | | | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-07-005 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 備える | 広げる | 改善する | | | | | | 平成24年度実績 | |
|----------------------------------|--|---------|--------|--------|-------------------------|-----|------|---------------------------------------|-------------------------|--|--|--|----------|---|
| 給食センター 耐震工事及び 施設改修整備 事業 | 建築後36年以上経過しており、施設の老朽化が進みさらに耐震基準を満たしていないことが判明したため、耐震補強工事と併せて施設設備の改修を実施する。 | H24事業終了 | | | 耐震補強工事を行うとともに施設改修を行う。 | | | | 継続的に安全で安心な学校給食の提供に取り組む。 | | | | | 給食を提供できない期間をできるだけ短縮し、実施設計に基づいた工事をすべて完了した。 繰越明許 70,537千円含む |
| 成果指標 | | | | | 進捗率 | | | | | | | | | |
| 市計画<305> | 終了 | 終了 | | | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 A | | | | | 継続 | |
| 給食センター | 事業費(千円) | | | | 耐震補強工事を行うとともに施設改修を実施した。 | | | 小学校の長期休暇を利用し、耐震補強工事及びトイレ、配管等の更新を実施した。 | | | | | <70,896> | |

| 2-07-006 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 |
|-------------------------|---|--------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|-----|------|---|--|--|--|--|----------|
| 学校給食費公 会計化事業 [新規] | 適正で透明な会計処理及び給食費収納に係る教職員の事務負担軽減のため、私会計で運営している学校給食費を市会計に組み込む。 | | 収納管理システム借上げ、徴収担当非常勤職員配置 | 収納管理システム借上げ、徴収担当非常勤職員配置 | 事務の透明性の向上、保護者の負担の公平性の確保する。 | | | 学校給食費の予算及び決算処理に関する透明性の一層の向上図り、教職員等の事務軽減を図る。 | | | | | |
| 成果指標 | | | | | | | | | | | | | |
| 市計画< > | 新規 | 新規 | 新規 | 継続 | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |
| 給食センター | 事業費(千円) | | 6,474 | 6,570 | | | | | | | | | |

| 2-07-101 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 |
|-------------------------------------|---|--|--|--|--|-----|------|---|--|--|--|--|---|
| 学校保健事業 (小学校保健 経費・中学校 保健経費) | 児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、定期健康診断や定期歯科検診等の各種検診事業を実施する。 | 各種検診事業、関係備品購入、健康づくり研修会の開催 内科検診看護師賃金 小学校9,191千円 中学校4,834千円 | 各種検診事業、関係備品購入、健康づくり研修会の開催 内科検診看護師賃金 | 各種検診事業、関係備品購入、健康づくり研修会の開催 内科検診看護師賃金 | 学校保健安全法に基づく児童生徒及び教職員の健康診断を実施し、健康を保持する。 | | | 児童生徒の健やかな体を育てる教育を進めていくため、健康状態を把握することが必要である。 体力向上、規則正しい生活習慣の確立などについて、学校だけでなく、家庭、地域との連携した取組が必要である。 | | | | | 各種検診事業、関係備品購入、健康づくり研修会の開催 小学校 9,032千円 中学校 4,883千円 |
| 成果指標 | | | | | 健康診断受診人数 | | | | | | | | |
| 市計画< > | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 A | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 14,025 | 14,047 | 14,047 | 児童、生徒の健康診断及び教職員の健康診断を実施するとともに、教職員への健康づくりセミナーを開催した。 | | | 児童・生徒の各種健康診断の充実(平成24年度より耳鼻科検診開始)及び教職員の教職員の健康管理体制の充実が図られた。 | | | | | 13,915 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-07-102 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|---|---|--|------------------|------------------|------------------------------------|------|------|--|--|-----------|--|---|----|
| スポーツ振興センター負担金等 (小学校管理経費・中学校管理経費) | 学校管理下において児童生徒に事故(けが)があった場合の医療費等への補償に対応する。 | 学校スポーツ振興センターへの加入 小学校3,132千円 中学校1,673千円 | 学校スポーツ振興センターへの加入 | 学校スポーツ振興センターへの加入 | 在籍児童生徒全員の加入負担金の支出。 | | | | | | 児童生徒のけが等に対し、医療費等の補償を行うとともに、日頃からの安全管理を行うことが必要である。 | 学校スポーツ振興センターへの加入及び補償の対応 小学校 負担金3,194千円 中学校 負担金1,630千円 | |
| | | | | | 成果指標 | 補償件数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | 平成24年度の評価 | A | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 在籍児童生徒全員が加入し、学校管理下中の事故への補償に対応している。 | | | | | | | 発生した児童生徒のけが等に対する医療費等の補償を適切に実施した。 | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 4,805 | 4,805 | 4,805 | | | | | | | | 4,824 | |

| 2-07-103 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|---|--|---|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------|------|------|--|--|-----------|----------------------------------|---|----|
| 北広島市小・中学校給食運営委員会経費 (小学校給食運営経費・中学校給食運営経費) | 学校給食の運営を適正かつ円滑に行うため教職員・保護者及び学校医等から助言を受け。 運営委員 13名 | 運営に関する重要な事項に対するの助言・委員会～ 2回開催 小学校198千円 中学校198千円 | 運営に関する重要な事項に対するの助言・委員会～ 2回開催 | 運営に関する重要な事項に対するの助言・委員会～ 2回開催 | 学校給食運営に関する重要な事項について助言を受ける。 | | | | | | 透明性のある学校給食の運営を適正に行ううえで必要な委員会である。 | 運営に関する重要な事項に対するの助言・委員会～ 2回開催 | |
| | | | | | 成果指標 | 開催回数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | 平成24年度の評価 | A | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 学校給食運営に関する重要な事項について助言を受けた。 | | | | | | | 学校給食運営に関する重要な事項について助言を受け、学校給食は適正に運営されている。 | 継続 |
| 給食センター | 事業費(千円) | 396 | 396 | 396 | | | | | | | | 280 | |

| 2-07-104 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|---|----------------------|--|----------|----------|-------------------------------------|-----|------|--|--|-----------|-----------------------------------|---|----|
| 学校給食施設維持管理経費 (小学校給食運営経費・中学校給食運営経費) | 学校給食を提供するための施設維持管理経費 | 施設維持管理経費 臨時 修繕経費・委託料見直し 小学校 1,572千円 中学校 4,568千円 | 施設維持管理経費 | 施設維持管理経費 | 学校給食を安定的に提供するうえで施設設備等を適正に維持する。 | | | | | | 学校教育の一環として食教育にあたり教材としての学校給食を提供する。 | 施設設備の修繕を実施 施設管理委託の実施 運営経費の委託料より(8,430千円)流用し受変電設備等修繕 | |
| | | | | | 成果指標 | 配食数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | 平成24年度の評価 | A | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 学校給食を安定的に提供するために計画的に施設設備等の維持管理を行った。 | | | | | | | 安定した学校給食の提供を行うため、計画的に施設・設備の修繕等を行った。 | 継続 |
| 給食センター | 事業費(千円) | 6,140 | 6,140 | 6,140 | | | | | | | | 15,410 | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-07-105 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 拡げる | 改善する | | | | | 平成24年度実績 |
|-----------------------------------|--|--|--|--|------------------------------|-----|------|---|---|-----------|---------|--|
| 学校給食運営経費 (小学校給食運営経費・中学校給食運営経費) | 学校給食を提供するための運営経費 栄養士3名・ボイラー技士2名分の報酬含む | 市内小・中学校運営経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校 小 101,349千円 中 117,011千円 | 市内小・中学校運営経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校 | 市内小・中学校運営経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校 | 栄養のバランスがとれた給食を提供し食生活の改善を図る。 | | | 学校給食を通して食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることが重要である。 | | | | 市内小・中学校運営経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校 |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 配食数 | | | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | A | 継続 |
| 給食センター | 事業費(千円) | 218,360 | 218,360 | 218,360 | 給食センター耐震補強工事期間中に代替給食の提供を行った。 | | | 児童・生徒が楽しく食事をすること、望ましい食習慣の形成を図ること、食事を通して好ましい人間関係の育成を図ることを目標に、栄養のバランスがとれた給食を提供した。 | | | 232,734 | |

| 2-07-106 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 拡げる | 改善する | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------------------------|---|--|--|--|-------------------------|-----|------|---------------------------------------|---|-----------|----|--|
| 北海道学校給食研究協議会負担金 (小学校給食運営経費) | 学校給食に係る調査研究及び情報交換を行い学校給食の向上を図るための北海道給食研究協議会運営経費 道内市町村が会員 | 学校運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換 理事会・役員会の開催 関係官庁及び関係機関との連携 | 学校運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換 理事会・役員会の開催 関係官庁及び関係機関との連携 | 学校運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換 理事会・役員会の開催 関係官庁及び関係機関との連携 | 学校給食に係る調査研究及び情報交換を行う。 | | | 学校給食に係る調査研究及び情報交換を行う。 | | | | 学校運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換 理事会・役員会の開催 関係官庁及び関係機関との連携 |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 加入市町村数 | | | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | A | 継続 |
| 給食センター | 事業費(千円) | 38 | 38 | 38 | 学校給食に関する調査研究及び情報交換を行った。 | | | 学校給食に関する調査研究及び情報交換を行い、学校給食運営に生かされている。 | | | 38 | |

【施策 8 特別支援教育の充実】

- 1 通常の学級、特別支援学級、通級指導教室での一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援を充実します。
- 2 特別支援教育コーディネーターを中心として全教職員による推進体制を充実します。
- 3 特別支援学校や関係機関との連携を充実します。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-08-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|---------------------|---|--|--------------------|--------------------|---|---------|------|--|---|--|-------|---|
| 特別支援教育 就学奨励費援助事業 | 特別支援学級への就学を奨励するとともに、保護者の負担を軽減するため学用品費等を支援する。また、通級教室児童を対象に通学費の支援を行う。 | 支援対象者に学用品や通学費などの助成 小学校 1,685千円 中学校 859千円 | 支援対象者に学用品や通学費などの助成 | 支援対象者に学用品や通学費などの助成 | 障がいを持つ児童生徒が、十分な教育を受ける機会の確保を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減。 | | | 障がいを持つ保護者の経済的負担の軽減を図ることが必要である。 | | | | 支援対象者に学用品や通学費などの助成 小学校 1,439千円(35名) 中学校 372千円(7名) |
| | | | | | 成果指標 | 援助児童生徒数 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | 平成24年度の評価 | A | | | |
| 市計画<209> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者へ学用品等の経費の助成を行った。 | | | 特別支援学級に在籍する児童・生徒及び通級指導教室に通学する児童の保護者に制度を周知し、経済的負担の軽減を図った。 | | | 継続 | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 2,544 | 2,309 | 2,250 | | | | | | | 1,811 | |

| 2-08-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 拡げる | 改善する | | | | | 平成24年度実績 |
|----------------|---|---|---|---|---|--------|------|---|---|--|--------|--|
| 特別支援教育 推進事業 | 通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童への支援を行う特別支援教育支援員の配置、特別支援学級設置校に、より充実した教育環境を支援する介助員を配置する。また、教員の理解と資質の向上を目的とした研修会の開催などを行う。 | 特別支援教育支援員10名・介助員14名の配置 校外活動に同行 特別支援学級合同事業の実施 相談・指導の実施 教員研修の実施 特別支援教育講演会の開催 | 特別支援教育支援員10名・介助員14名の配置 校外活動に同行 特別支援学級合同事業の実施 相談・指導の実施 教員研修の実施 特別支援教育講演会の開催 | 特別支援教育支援員10名・介助員14名の配置 校外活動に同行 特別支援学級合同事業の実施 相談・指導の実施 教員研修の実施 特別支援教育講演会の開催 | 通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童の支援、学校全体による支援体制の充実。 | | | 特別な配慮が必要な児童に対する教員の共通理解と十分な支援体制を整えることが必要である。 特別支援教育について、学校だけではなく、保護者や地域の理解を深めることが必要である。 | | | | 特別支援学級支援員10人、特別支援学級介助員14人を配置及び特別支援学級の備品・消耗品の購入、特別支援学級合同宿泊学習・運動会の実施 |
| | | | | | 成果指標 | 支援員配置数 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | 平成24年度の評価 | B | | | |
| 市計画<211> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 特別支援学級支援員、特別支援学級介助員配置により特別支援学級合同宿泊学習・運動会の実施できた。 | | | 配慮を必要とする児童生徒への対応について学校全体で取り組む体制づくりは整備されつつあるが、今後学校の事情に応じて計画的に配置していくことが必要である。 | | | 統合・拡大 | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 28,156 | 28,250 | 28,250 | | | | | | | 26,536 | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-08-002-1 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 広げる | 改善する | | | | | | 平成24年度実績 | |
|------------------------|--|----------------------------------|--|---------------------------------|--|--------|------|---|--|--|--|--|----------|--|
| 特別支援教育 推進事業 【拡大】 | 通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童への支援を行う特別支援教育支援員を増員配置する。 | 特別支援教育支援員を11月から2名増員 (10名 12名) | 特別支援教育支援員を4名増員 (12名 16名) 小学校複数配置完了 | 特別支援教育支援員を中学校に3名配置 (16名 19名) | 通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童の支援体制の更なる充実を図るための支援員の増員。 | | | 特別な配慮が必要な児童に対する教員の共通理解と十分な支援体制を整えることが必要である。 特別支援教育について、学校だけではなく、保護者や地域の理解を深めることが必要である。 | | | | | / | |
| | | | | | 成果指標 | 支援員配置数 | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | | |
| 市計画<346> | 拡大 | 拡大 | 拡大 | 拡大 | | | | | | | | | | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 1,052 | 6,693 | 10,039 | | | | | | | | | | |

| 2-08-101 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|----------------------------|---|------------|------------|------------|---|-------------|------|--|--|-----------|--|--|----------------|--|-----|
| 就学指導委員会 (小学校教育 振興経費) | 特別支援教育を必要とする児童生徒の就学について、調査、検討するため就学指導委員会を開催する。 委員16名 | 就学指導委員会の開催 | 就学指導委員会の開催 | 就学指導委員会の開催 | 専門家による調査や検査結果に基づく、対象児童生徒の保護者への適切な就学指導と就学先の提供。 | | | 障がいを持つ児童生徒の保護者に、子どもの状況や学校、家庭が共に、子どもの成長を支援していくことについて理解をしてもらうことが必要である。 | | | | | 就学指導委員会の開催(3回) | | |
| | | | | | 成果指標 | 就学指導委員会開催回数 | | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | B | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 就学指導委員会を3回開催し、児童生徒の就学先の検討を行った。 | | | | | | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 652 | 652 | 652 | 就学時検診での検査結果や各学校の依頼による在籍児童生徒の検査結果を基に、その児童生徒に適切な就学先の検討を行い、保護者に提供することができた。 | | | | | | | | | | 528 |

| 2-08-102 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 広げる | 改善する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|---|--|--------------|--------------|--------------|--|------------|------|---|--|-----------|--|--|---------------------------|--|-------|
| 特別支援教育 アドバイザー の配置 (教育委員会 事務局運営経 費) | 教育委員会事務局に障がい児教育の専門的な知識を有する人材を配置し、校長を含め教職員への指導、助言、情報提供を行うとともに、保護者との相談など、特別支援教育の理解と指導力を向上を図る。 (非常勤) | 専門職非常勤職員2名配置 | 専門職非常勤職員2名配置 | 専門職非常勤職員2名配置 | 各学校長や教職員への指導・助言、情報提供及び保護者との相談など、特別支援教育の理解と指導力の向上を図るための支援体制の充実。 | | | 特別な配慮が必要な児童に対する教員の共通理解と十分な支援体制を整えることが必要である。 特別支援教育について、学校だけではなく、保護者や地域の理解を深めることが必要である。 | | | | | 専門職非常勤職員2名配置 (相談件数42件) | | |
| | | | | | 成果指標 | 特別支援教育相談件数 | | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | B | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 特別支援教育の理解と指導力の向上を図るため非常勤職員を配置し、支援体制の充実を図った。 | | | | | | | | | | 新規 |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 5,243 | 5,243 | 5,243 | 就学指導の面で、適切な対応と支援をしていただくことができ、円滑な就学指導が出来た。 | | | | | | | | | | 4,930 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-08-103 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|-------------------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|------------|------|--|-----------|--|---|---|--|
| 特別支援教育 関連協議会 (教育振興経 費) | 知的障がい及び言語障がい 教育の振興を図るため、北 海道障害児教育連盟、北海 道言語障害児研究協議会へ 参加する。 | 北海道障害児教育連 盟、北海道言語障害 児研究協議会への参加 | 北海道障害児教育連 盟、北海道言語障害 児研究協議会への参加 | 北海道障害児教育連 盟、北海道言語障害 児研究協議会への参加 | 北海道障害児教育連盟、北海道 言語障害児研究協議会への負担 金の支出。 | | | | | | | 協議会へ参加することにより、学校間の連携や情 報交換が行われ、教職員の資質向上等の観点からも 必要である。 | 北海道障害児教育 連盟、北海道言語 障害児研究協議会 への参加 |
| | | | | | 成果指標 | 各協議会への参加状況 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | 平成24年度の評価 | | | A | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 各協議会へ担当教職員が参加 し、情報交換等を行っている。 | | | | | | 全道各市の組み状況や支援体制などの情報収集や指 導方法の検討などが等が行なわれ、教職員の資質向 上が図られた。 | 継続 | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 68 | 68 | 68 | | | | | | | 61 | | |

【施策9 社会の変化や課題に対応した教育の推進】

- 1 国際化に対応するため、外国語指導助手(ALT)のもと、コミュニケーション能力の育成を図ります。
- 2 情報活用能力の育成や情報モラル教育を推進します。
- 3 市の共通実践課題として、環境、福祉、人権、平和教育を位置づけ、より充実・発展させるための取組みを推進します。
- 4 姉妹都市東広島市との交流を通して、お互いの歴史や文化を理解し、ふるさと意識の醸成を推進します。
- 5 望ましい社会性や勤労観・職業観を育成するキャリア教育を推進します。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-09-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 拡げる | 改善する | | | | 平成24年度実績 | |
|-------------|--|-------------|-------------|-------------|---|---------|------|---|--|--|----------|---|
| 外国語指導助手活用事業 | 児童・生徒の英語発音やコミュニケーション能力育成の向上を目的に各学校の外国語授業等に英語指導助手を派遣し、外国語授業等の充実を図る。 | 英語指導助手の4名配置 | 英語指導助手の4名配置 | 英語指導助手の4名配置 | 新学習指導要領による小、中学校における外国語(英語)に対する指導が重要な位置を占めることに対応した、外国語授業の充実。 | | | 免許外教員が教える小学校の外国語活動の授業への支援体制が必要である。 英語指導助手の学校への派遣、地域の人材の活用が必要である。 | | | | 英語指導助手の派遣(4名) 小学校派遣 319日 指導時数1,275時間 中学校派遣 412日 指導時間1,441時間 |
| | | | | | 成果指標 | 英語指導助手数 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | 平成24年度の評価 | | | A | |
| 市計画<213> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 小、中学校の外国語活動の授業に英語指導助手を派遣し、特にコミュニケーション能力の育成が図られている。 | | | 小学校5,6年生において外国語活動の授業が必修となったことから、効率的、計画的に英語指導助手の活用を図っていく必要と異文化に触れる国際性を高めた。 | | | 拡大 | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 15,809 | 15,590 | 15,590 | | | | | | | 15,106 | |

| 2-09-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | 平成24年度実績 | |
|-------------|---|--|---|---|--|--------------|------|---|--|--|----------|---|
| 学校ICT環境整備事業 | 情報化社会へ適応するため情報処理能力の向上、ICTを活用した授業による学力の向上、校務処理の効率化を図るため、生徒児童用・教職員用コンピューター、周辺機器、アプリケーションの整備を行う。 | 校務用コンピューターの更新、保守、修繕、アプリケーション等の購入、プロジェクターランプの購入 | 小学校教育用コンピューターの更新、保守、修繕、アプリケーション等の購入、プロジェクターランプの購入 | 小学校教育用コンピューターの更新、保守、修繕、アプリケーション等の購入、プロジェクターランプの購入 | 情報化社会に適応、より充実した学校教育のため、計画的に更新、新しい技術の導入を行う。 | | | ICTを活用し、より充実した教育環境を提供するためには、日々変化する情報通信技術に対応していく必要がある。 | | | | 中学校教育用コンピューターの更新279台 アプリケーション等の購入 保守、修繕 |
| | | | | | 成果指標 | 学校ICT機器の稼働状況 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | 平成24年度の評価 | | | A | |
| 市計画<212> | 継続 | 見直し | 継続 | 継続 | 情報化社会に適応、より充実した学校教育のため、計画的に機器の更新、保守を行った。 | | | 中学校教育用コンピューターの更新、デジタル教科書等コンテンツの整備を行い、ICTを活用した教育の充実を図った。 | | | 継続 | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 58,838 | 63,624 | 78,759 | | | | | | | 53,216 | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 2-09-003 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 |
|---------------|--|------------------------------|------------------------------|---|--------------------------------------|-----|------|---|--|-----------|--|----|---|
| 郷土資料教材 化事業 | 郷土への関心を高め地域に根ざした特色ある教育を行うため、小学校社会科で使用する副読本作成の編集委員会を開催。また、小・中学校の教員が独自開発した教育資源をデジタル化して各教科に活用できるようにし、教育委員会のホームページに登載する。 | 郷土資料教材化編集委員会の開催 デジタル教材の更新 | 郷土資料教材化編集委員会の開催 デジタル教材の更新 | 郷土資料教材化編集委員会の開催 デジタル教材の更新 社会副読本改訂版の作成 | 地域に根ざした授業を行うため、市内の教育資源を題材とした指導教材の充実。 | | | 生まれ育った地域をより知ることによる郷土愛や授業への興味関心を引く独自の教材の提供が必要である。 | | | | | 編集委員会の開催 デジタル教材の検討 小学校社会科副読本編集委員会の開催 3回 郷土資料教材化編集委員会の開催 1回 |
| | | | | | 成果指標 | | | 開発した教材数/目標とする教材開発数 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | B |
| | | | | | 次回改訂に向けた社会科副読本編集委員会の開催 | | | 社会科副読本により、郷土に対する関心を高め地域に根ざした特色ある教育を行うことができた。また、郷土資源を活用したデジタル教材を今後増やしていく必要がある。 | | | | | 継続 |
| 市計画<228> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | 継続 | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 72 | 74 | 3,025 | | | | | | | | 12 | |

| 2-09-004 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 |
|---------------|---|--|--|--|--|-----|------|--|--|-----------|--|-------|---|
| 姉妹都市子ども大使交流事業 | 小中学生が姉妹都市である東広島市と相互訪問することにより、ふるさと意識を高めるとともに両市の相互理解と連携意識を育み友好親善を深める。また、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参列することにより、平和を尊ぶ心を育てる。 | 児童生徒を東広島市に派遣、東広島市生徒の受入れ、交流校訪問(児童生徒間交流)の実施、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参列 | 児童生徒を東広島市に派遣、東広島市生徒の受入れ、交流校訪問(児童生徒間交流)の実施、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参列 | 児童生徒を東広島市に派遣、東広島市生徒の受入れ、交流校訪問(児童生徒間交流)の実施、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参列 | 教育の一環として、姉妹都市の歴史・文化を学ぶことや学校間の交流。また、平和の大切さを学ぶ。 | | | 交流事業を継続することによりふるさと意識の高揚を図るとともに、平和の重要性を認識させ、大使が全校に広めることが必要である。 | | | | | 小中学生合同の子ども大使を編成 児童生徒を東広島市に派遣、東広島市生徒の受入れ、交流校訪問(生徒間交流)の実施、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参列 |
| | | | | | 成果指標 | | | 子ども大使派遣、受入児童生徒数 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | A |
| | | | | | 小中学生を子ども大使として東広島市、広島市に派遣し、姉妹都市交流、実感をもった平和教育を行った。 | | | H24から小中学生合同の子ども大使とし、大使としての目標である平和の重要性、ふるさと意識の醸成を図り、体験したことを全校に広げる活動の拡大、充実が図られた。 | | | | | 拡大 |
| 市計画<300> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | 拡大 | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 3,058 | 2,806 | 2,806 | | | | | | | | 2,436 | |

政策3 信頼され、魅力ある学校づくりの推進

施策10 開かれた学校づくりの推進

施策11 教育環境の整備

【施策10 開かれた学校づくりの推進】

- 1 家庭や地域の教育的ニーズに対応した教育活動を推進します。
- 2 学校経営プログラムによる学校経営の推進とマネジメント・サイクルによる学校改善を推進します。
- 3 学校関係者からの学校に対する評価や結果、教育活動の成果について、保護者や地域に周知するなど、広報活動を充実します。
- 4 地域の方々の教育活動への参加や学校資源を地域へ提供するなど学校と地域の双方向の連携を推進します。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | | | | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 | |
|------------------|---|---|---|---|---|------------|------|---|--------------|--------------|-------------|------------|---|----------|-----|
| | | | | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | | |
| | | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | | |
| 3-10-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 整える | 点検する | | | | | | | 平成24年度実績 | |
| 学校施設開放 事業 | 地域住民に学習活動の場を提供するとともに、地域と学校の交流を深める。 | 地域住民に学校を開放 (西部小学校・大曲東小学校) | 地域住民に学校を開放 (西部小学校・大曲東小学校) | 地域住民に学校を開放 (西部小学校・大曲東小学校) | 学校施設の有効利用と市民ニーズに応えた学習活動の場の提供 | | | 生涯学習の振興を図るため、地域が必要とする活動の場を提供していくことが必要である。 | | | | | 西部小・大曲東小で開放事業は行った。 (実績なし) 旧緑陽小は学校開放受付事務のみ(所管は企画財政部) | | |
| | | | | | 成果指標 | 開放回数 | | 平成24年度の評価 | | | A | 平成24年度の評価 | B | | |
| 市計画<214> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 地域が必要とする活動の場を提供している。 | | | 現状では、ほとんど利用実績がないことから、利用促進や開放施設について検討する必要がある。 | | | | | 継続 | | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 0 | 10 | 10 | | | | | | | | | | | 0 |
| 3-10-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | | 平成24年度実績 | |
| 学校評議員等 運営支援事業 | 地域や社会に開かれた学校づくりを推進するため、小・中学校で学校評議員を委嘱し、学校運営等に関して学校との意見交換を行う。また学校関係者評価委員を委嘱し、各学校が教育活動や学校運営等について自己評価した結果について、評価をしてもらうなど、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動の展開を図る。 | 学校評議員・学校関係者評価委員を委嘱 運営費交付金1校 23,000円交付 全体会議を各校で開催 | 学校評議員・学校関係者評価委員を委嘱 運営費交付金1校 23,000円交付 全体会議を各校で開催 | 学校評議員・学校関係者評価委員を委嘱 運営費交付金1校 23,000円交付 全体会議を各校で開催 | 学校から保護者や地域への情報発信の充実と、保護者、地域要望の教育活動への反映による信頼される学校づくりの推進。 | | | 保護者や地域からの意見、要望を反映することが必要である。 保護者や地域から信頼され、期待に応える教育を実現するための学校経営を進める必要がある。 | | | | | 学校評議員70名・学校関係者評価委員112名を委嘱 全体会議を各校で開催 | | |
| | | | | | 成果指標 | 会議開催回数 | | 平成24年度の評価 | | | A | 平成24年度の評価 | A | | |
| 市計画<215> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 各学校で学校評議員会、学校関係者委員会を開催し、委員との意見交換や、自己評価結果についての評価を行った。 | | | 各学校で委員に学校運営の方針や現状について理解をってもらうとともに、学校に対する要望や意見交換等を行い学校運営等に反映している。また学校関係者評価委員に学校経営や学習指導などの自己評価した結果が適切な評価であるかを評価してもらうとともに、改善を進めていく上での助言をいただくなど、も学校と家庭や地域が連携した学校運営を進めていくことができた。 | | | | | 継続 | | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 322 | 322 | 322 | | | | | | | | | | | 322 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 3-10-003 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | |
|----------------------------|---|--|---------|--------|---|--------|---|--|---|-----------|---|------------|----------|--|
| コミュニティ・スクールの導入促進に関する調査研究事業 | 開かれた学校づくりを推進するため、文部科学省の指定を受け、中学校区でのコミュニティ・スクールのあり方等について西部地区コミュニティ・スクール推進委員会にて調査研究を行う。 | 西部コミュニティ・スクール運営委員会の開催、住民向け講演会の開催 全国コミュニティ・スクール研究会参加 | H25事業終了 | | 開かれた学校づくりを目指し保護者、地域、学校が一体となりコミュニティ・スクールの確立を目指す。 | | | 学校教育と地域人材をつなぐ拠点となる事が必要。 コミュニティ・スクールを通じ、学力や人間性を育成する。 | | | | | | ・西部地区コミュニティ・スクール推進委員会の5回開催 ・先進地視察（東京三鷹市） ・講演会の開催 |
| 市計画<353> 学校教育課 | 継続 事業費(千円) | 継続 | 終了 | | 成果指標 | 会議開催回数 | | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | A | 6月補正 新規 | 449 | |
| | | | | | 西部地区にコミュニティ・スクール推進委員会を設置し、設置に向けた検討を行った。 | | 西部地区の特色を生かしたコミュニティ・スクールの設置を目指し、先進地視察や組織体制、運営方法について検討した。 | | | | | | | |

| 3-10-004 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 広げる | 改善する | | | | | | 平成24年度実績 | |
|-------------------|---|---------------|--------|--------|----------------------------------|--------|---|---|---|-----------|---|----|----------|--|
| 学校支援ボランティア活用事業 | 地域の方が持っている優れた知識と技術を教育活動等に生かすため「学校支援ボランティア」として登録してもらい、学校支援として教育活動に参加することで、地域人材を活用した開かれた学校づくりを推進する。 | 学校支援地域本部事業に統合 | | | 学校行事や授業などの教育活動や環境整備等への地域人材の活用。 | | | 学校が必要とする地域人材の確保が必要である。 ボランティア活用の拡大とともに、学校支援地域本部事業との連携により効率化を図る必要がある。 | | | | | | 市内小中学校において地域の人材がボランティアとして支援するため運営経費助成。学校支援者ボランティア保険への加入。 活動参加延べ人数 624人 |
| 市計画<204> 社会教育課 | 統合 事業費(千円) | 統合 | | | 成果指標 | 制度活用実績 | | 平成24年度の評価 | B | 平成24年度の評価 | B | 継続 | 989 | |
| | | | | | 各学校で200名以上の地域の方がボランティアとして活動している。 | | 年々学校を支援するボランティア数が増加していることから、より効率的な支援について検討していく。 | | | | | | | |

【施策11 教育環境の整備】

- 1 研修機会の充実や適切な教職員評価を通じて、教職員の資質の向上を図ります。
- 2 適正な規模の集団の中で学ぶことができる環境づくりを推進します。
- 3 教育施設の老朽化や、児童生徒数の増減に対応した施設の整備を推進します。
- 4 児童生徒の安全と学習環境の向上に配慮した施設・設備の整備を推進します。
- 5 二学期制や小中一貫教育等の新しい教育システムについて検討を進めます。
- 6 家庭、地域による学校への支援を支える取組みを推進します。
- 7 小・中・高等学校教育等への就学を支援します。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 3-11-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | |
|------------------|--|--|--|--|---|----------|------|--|--|--|---|--|----------|---|
| 学校教育団体 活動支援事業 | 教職員の資質向上と教育内容及び学校経営の充実を図るため教育関係団体で行う事業費の一部を支援する。 | 教育研究会、小中学校校長会、小中学校教頭会に助成 進路指導連絡協議会に助成 | 教育研究会、小中学校校長会、小中学校教頭会に助成 進路指導連絡協議会に助成 | 教育研究会、小中学校校長会、小中学校教頭会に助成 進路指導連絡協議会に助成 | 本市における学校教育を振興するため、事業成果を検証しながら継続的な支援を行う。 | | | | 市内の教職員が一体となり、本市の教育振興についてさまざまな観点から継続的に研究、調査、研修等を行うことは必要である。 | | | | | 教育研究会に助成3,654千円 小中学校校長会に助成400千円 小中学校教頭会に助成300千円 進路指導連絡協議会に助成76千円 |
| | | | | | 成果指標 | 教職員の資質向上 | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | | A | | | |
| | | | | | 各教育関係団体の活動を支援することにより、教育の振興が図られている。 | | | | | 各教育関係団体が、それぞれの立場で調査、研究、研修活動したその成果は、教職員の資質向上や学校経営の充実に活かされている。 | | | | |
| 市計画<216> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 4,430 | 4,430 | 4,430 | 4,430 | | | | | | | | | |

| 3-11-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | |
|-----------------|--------------------------------------|---|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|------|------|--|--|---|---|--|----------|--|
| 教師用指導書 等整備事業 | 教員に指導書及び教科書を配布し、指導方法の工夫改善及び学力の向上を図る。 | 小・中学校の教員に教科書及び指導書の配布 小学校 407千円 中学校 98千円 | 小・中学校の教員に教科書及び指導書の配布 小学校用全面改訂 | 小・中学校の教員に教科書及び指導書の配布 中学校用全面改訂 | 使用する教科書の改訂に伴い、各学校へ必要となる指導書等の配布。 | | | | 学力向上のための指導方法の工夫改善などを行うために、教師用の教科書、指導書は必要不可欠であるが、配布にあたっては、必要最小限に努める必要がある。 | | | | | 小・中学校の教員に補充分配布 小学校 教師用教科書113冊 指導書 40冊 中学校 教師用教科書20冊 指導書18冊 小学校 469千円 中学校 403千円 |
| | | | | | 成果指標 | 配布実績 | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | | A | | | |
| | | | | | 小中学校教員が使用する教科書及び指導書を補充配付した。 | | | | | 配付にあたっては、学校規模、教員配置等を精査し、配付するとともに、指導方法の工夫・改善が図られた。 | | | | |
| 市計画<229> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 505 | 10,050 | 12,870 | 872 | | | | | | | | | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 3-11-006 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|----------------|-------------------------------|---|---------------------------|---------------------------|--|---------|------|--|--|--|-----------------------------------|---|
| 学校事務機器 整備事業 | 学校事務の効率化を図るため、必要となる事務機器を整備する。 | 大型事務機器保守及び修繕 大型事務機器の購入 小学校 923千円 中学校 771千円 | 大型事務機器保守及び修繕 大型事務機器の購入 | 大型事務機器保守及び修繕 大型事務機器の購入 | 学校事務の効率化を図り、学校経営を円滑に実施するため、教育活動上必要な事務機器の保守、修繕、更新を行う。 | | | | | | | 大型事務機器保守及び修繕 大型事務機器（印刷機）の購入（大曲小・大曲中・広葉中・東部中） 小学校 626千円 中学校 853千円 |
| | | | | | 成果指標 | 保守・整備状況 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | | 平成24年度の評価 | A |
| | | | | | 適切な保守、修繕や計画的な機器の更新により、事務の効率化を図った。 | | | | | | 適切な保守、修繕や計画的な機器の更新により、事務の効率化を図った。 | |
| 市計画<218> | 継続 | 見直し | 継続 | 継続 | | | | | | | 継続 | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 1,694 | 2,730 | 2,730 | | | | | | | 1,479 | |

| 3-11-007 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|----------------|---|----------------|----------------|--------------|--|-----------------|------|--|--|--|---------------|---------------|
| 学校放送設備 整備事業 | 学校の放送設備や視聴覚設備の老朽化に伴う整備や時代に合った設備に更新することにより、設備を有効に活用し、教育活動の充実を図る。 | 学校放送設備の更新は行わない | 学校放送設備の更新は行わない | 学校放送設備を更新する。 | 児童生徒の学習意欲の向上、教育の質の向上を図るため、放送、視聴覚教育に必要な機器、設備の更新を図る。 | | | | | | | 今年度、放送設備の更新なし |
| | | | | | 成果指標 | デジタル放送実施、更新整備校数 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | - | | | | | 平成24年度の評価 | - |
| | | | | | 今年度、放送設備の更新なし | | | | | | 今年度、放送設備の更新なし | |
| 市計画<231> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | 継続 | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 0 | 0 | 0 | | | | | | | 0 | |

| 3-11-008 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|-----------|--|---|-------------------|-------------------|------------------------------------|---------------|------|--|--|--|--|---|
| 理科教材等整備事業 | 理科教育で必要となる教材教具を、小中学校に購入・更新し、教育の充実を図る。（各校2年に1回） | 各小中学校に理科教材等の購入・更新 小学校1,694千円 中学校1,578千円 | 各小中学校に理科教材等の購入・更新 | 各小中学校に理科教材等の購入・更新 | 理科における観察、実験教育の質を向上するために必要な教材教具の整備。 | | | | | | | 小学校5校（北の台、大曲東、双葉、緑ヶ丘、陽香） 中学校4校（西部、広葉、緑陽、西の里）に理科教材を整備 小学校1,726千円 中学校1,297千円 |
| | | | | | 成果指標 | 文部科学省の整備目標達成率 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | | 平成24年度の評価 | A |
| | | | | | 新学習指導要領に対応した理科教材を整備した。 | | | | | | 理科教育の充実を図るため、文科省の整備時準を目標に補助金を活用した教材の整備を行った。今後も継続して整備を行う。 | |
| 市計画<217> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | 継続 | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 3,272 | 3,578 | 3,578 | | | | | | | 3,023 | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 3-11-009 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|------------------|--|--|--|-------------------------------------|--|-----|-----------|---|-----------|--|--|--|----|
| 学校施設管理 機器整備事業 | 良好な教育環境を維持するために必要な草刈機、除雪機などの管理機器の保守管理及び修繕を行うとともに、耐用年数を経過した機器を更新する。 | 草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 小学校 242千円 中学校 195千円 | 草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 耐用年数の経過した草刈機の更新 自走式草刈機の購入 | 草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 耐用年数の経過した除雪機の購入 | 児童生徒の学習環境を良好かつ適切に保持・管理するため、管理機器の日常的な保守、管理。 | | | | | | | 草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 耐用年数の経過した除雪機の更新 (東部中・西部小) 小学校 641千円 中学校 649千円 | |
| 成果指標 | 保守・整備状況 | | | | | | | | | | | | |
| 市計画<222> | 継続 | 見直し | 継続 | 継続 | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | | | A | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 437 | 1,000 | 1,000 | 良好な教育環境の整備、学校業務主事の効率的な作業を実施することができた。 | | | 草刈機、除雪機の維持管理、修繕を行うことで良好な教育環境を整備できた。また業務主事の効率的な作業のため、除雪機を購入した。 | | | | | 継続 |
| | | | | | | | | | | | | 1,290 | |

| 3-11-010 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|--------------------|--|-----------------------------------|---------|--------|--------------------------------|-----|-----------|--------------------------------|-----------|--|--|---------------------------|----|
| 双葉小学校校舎・講堂防音機能復旧事業 | 温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。 | 校舎棟・屋体棟の温度保持換気設備機器の更新工事 工事施工監理 | H25事業終了 | | 良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。 | | | | | | | 温度保持換気設備機器等更新工事実施のための実施設計 | |
| 成果指標 | 進捗率 | | | | | | | | | | | | |
| 市計画<234> | 継続 | 継続 | 終了 | | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | | | A | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 53,110 | | | 温度保持換気設備機器等更新工事実施のための実施設計を行った。 | | | 温度保持換気設備機器等更新工事実施のための実施設計を行った。 | | | | | 継続 |
| | | | | | | | | | | | | 1,838 | |

| 3-11-011 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|--------------------------|---|--------|--|---------|-------------------------------------|-----|-----------|------|-----------|--|--|----------|----|
| 北の台小学校校舎屋体大規模改造・屋体地震補強事業 | 建築後35年以上経過しており、外壁や屋根面等老朽化が進んでいるため、耐震化工事と併せて、内外部に渡る大規模改造工事を実施する。 | 実施設計委託 | 地震補強工事 大規模改造工事 トイレ改造工事 工事施工管理 | H26事業終了 | 良好な教育環境を維持するための校舎屋体大規模改造及び屋体地震補強工事。 | | | | | | | 該当なし | |
| 成果指標 | 進捗率 | | | | | | | | | | | | |
| 市計画<226> | 継続 | 継続 | 継続 | 終了 | 平成24年度の評価 | - | 平成24年度の評価 | - | 平成24年度の評価 | | | - | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 12,000 | 339,600 | | 該当なし | | | 該当なし | | | | | 継続 |
| | | | | | | | | | | | | 0 | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 3-11-012 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|-----------------|---|---------|--------|--------|----------------------------|-----|------|--|--|--|---|-------------------------------|
| 西部中学校屋 体改築事業 | 建築後37年が経過して おり、老朽化とともに狭隘で あることから、改築事業を 実施する。 | H24事業終了 | | | 良好な教育環境を維持するた めの屋体改築工事。 | | | 良好な教育環境を維持するた め、屋体改築工事を行 う必要がある。 | | | | 屋体改築工事 繰越明許 <341,702>含む |
| | | | | | 成果指標 | 進捗率 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | 平成24年度の評価 | | | A | |
| | | | | | 屋体改築工事を行った。 | | | 屋体改築工事を行った。 | | | | |
| 市計画<230> | 終了 | 終了 | | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | | | | | | | | | | | 395,438 |

| 3-11-013 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|-----------------------------------|---|--------|--------|-----------------------------|--|-----|------|--|--|--|---|----------|
| 緑陽中学校校 舎屋体地震補 強・大規模改 造事業 | 建築後33年以上経過して おり、外壁や屋根面等老朽 化が進んでいるため、耐震 化工事と併せて、内外部に 渡る大規模改造工事を実施 する。 | | 実施設計委託 | 地震補強工事 大規模改造工事 工事施工監理 | 良好な教育環境維持するた めの校舎屋体大規模改造及 び屋体地震補強工事。 | | | 良好な教育環境を維持するた め、校舎屋体大規模 改造、屋体地震補強工事 を行う必要がある。 | | | | 該当なし |
| | | | | | 成果指標 | 進捗率 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | - | | 平成24年度の評価 | | | - | |
| | | | | | 該当なし | | | 該当なし | | | | |
| 市計画<236> | 継続 | 延伸 | 継続 | 継続 | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 0 | 12,890 | 399,840 | | | | | | | | 0 |

| 3-11-014 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|----------------------------|---|--------|--------------------------|---------|-----------------------------------|-----|------|--|--|--|---|----------|
| 東部中学校工 レベーター設 備等設置事業 | 肢体不自由な生徒が就学 に支障をきたさない学校環 境の整備のため、エレベ ーターを設置する。 | 実施設計委託 | エレベーター設置工 事 施工監理委託 | H26事業終了 | 良好な教育環境維持するた めのエレベーター設置工 事。 | | | 良好な教育環境を維持するた め、エレベーター設 置工事を行う必要がある。 | | | | 該当なし |
| | | | | | 成果指標 | 進捗率 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | - | | 平成24年度の評価 | | | - | |
| | | | | | 該当なし | | | 該当なし | | | | |
| 市計画<260> | 継続 | 継続 | 継続 | 終了 | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 1,760 | 36,975 | | | | | | | | | 0 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 3-11-018 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | |
|---|--|--------|--------|--------|-----------------------------|-----------|------|---|--|--|--|--|----------|---|
| 緑ヶ丘小学校 校舎・講堂防 音機能復旧事 業 [新規] | 温度保持換気設備機器等 (暖房機、空調機、送風機 等)の老朽化により、本来 の機能が低下し、良好な教 育環境が阻害されるため、 設備機器を新機種に更新し て防音機能を復旧する。 | | | 実施設計委託 | 良好な教育環境を維持するた めの設備機器の更新。 | | | 良好な教育環境を維持するた め、温度保持換気設備 機器等(暖房機、空調機、送 風機等)を更新する必要が ある。 | | | | | | / |
| | | | | | 成果指標 | 進捗率 | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | 平成24年度の評価 | | | | | | | | |
| 市計画<275> | 新規 | | 延伸 | 新規 | | | | | | | | | | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | | 0 | 3,903 | | | | | | | | | | |

| 3-11-019 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|-----------------------|---|---------|--------|--------|------------------------------|----------------|------|---|--|--|---|--|----------|-----------|--------|
| 広葉中学校グ ランド整備事 業 | 排水機能の低下しているグ ランドの整地及び暗渠埋設 工事を実施し、グラウンドの 機能回復を図る。 | H24事業終了 | | | 良好な教育環境維持するた めのグラウンド整備工事。 | | | 良好な教育環境を維持するた め、グラウンド整備工 事を行う必要がある。 | | | | | | グラウンド整備工事 | |
| | | | | | 成果指標 | 進捗率 | | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | 平成24年度の評価 | | | | | A | | | | |
| | | | | | グラウンド整備工事を行った。 | グラウンド整備工事を行った。 | | | | | | | | | |
| 市計画<328> | 終了 | 終了 | | | | | | | | | | | | | 新規 |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | | | | | | | | | | | | | | 26,250 |

| 3-11-020 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | |
|----------------------------------|--|--------|--------|--------|-----------------------------|-----------|------|---|--|--|--|--|----------|---|
| 大曲東小学校 講堂防音機能 復旧事業 [新規] | 温度保持換気設備機器等 (暖房機、空調機、送風機 等)の老朽化により、本来 の機能が低下し、良好な教 育環境が阻害されるため、 設備機器を新機種に更新し て防音機能を復旧する。 | | | 実施設計委託 | 良好な教育環境を維持するた めの設備機器の更新。 | | | 良好な教育環境を維持するた め、温度保持換気設 備機器等(暖房機、空調機、送 風機等)を更新する必要が ある。 | | | | | | / |
| | | | | | 成果指標 | 進捗率 | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | 平成24年度の評価 | | | | | | | | |
| 市計画< > | 新規 | | | 延伸 | | | | | | | | | | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | | | 0 | | | | | | | | | | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | | | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|--|--|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|--------|--------|--------|----------------------------|-----|------|-------------------------------------|--|--|--|--|---|----------|
| 3-11-021 | 事業内容 東部中学校校舎・屋体大規模改造事業 [新規] | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | | 平成24年度実績 |
| | 建築後24年が経過しており、外壁や屋根面等老朽化が進んでいるため、屋上防水改修や内外部にわたる大規模改造工事を実施する。 | | | 実施設計委託 | 良好な教育環境維持するための校舎屋体大規模改造工事。 | | | 良好な教育環境を維持するため、校舎屋体大規模改造工事を行う必要がある。 | | | | | / | |
| | | | | | 成果指標 | 進捗率 | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | | |
| 市計画< > | 新規 | | | 延伸 | | | | | | | | | | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | | | 0 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|--------|--------|--------|----------------------------|-----|------|-------------------------------------|--|--|--|--|---|----------|
| 3-11-022 | 事業内容 大曲東小学校校舎・屋体大規模改造事業 [新規] | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | | 平成24年度実績 |
| | 建築後24年が経過しており、老朽化が進んでいるため、大規模改造工事を実施する。 | | | 実施設計委託 | 良好な教育環境維持するための校舎屋体大規模改造工事。 | | | 良好な教育環境を維持するため、校舎屋体大規模改造工事を行う必要がある。 | | | | | / | |
| | | | | | 成果指標 | 進捗率 | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | | |
| 市計画< > | 新規 | | | 延伸 | | | | | | | | | | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | | | 0 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|--|--|--|--|------------------|------|---|--|-----------|--|--|--|----------|
| 3-11-023 | 事業内容 学校支援地域本部事業 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 広げる | 改善する | | | | | | | 平成24年度実績 |
| | 学校支援地域本部を設置し、学校支援ボランティアや授業補助員の制度などをより効果的に活用していくために「学校支援コーディネーター」による学校における地域の支援を進める。 | 運営委員会の開催 学校支援コーディネーターの配置 授業補助員活用事業・学校支援ボランティア活用事業を統合 | 運営委員会の開催 学校支援コーディネーターの配置 授業補助員活用事業・学校支援ボランティア活用事業を実施 | 運営委員会の開催 学校支援コーディネーターの配置 授業補助員活用事業・学校支援ボランティア活用事業を実施 | 地域が学校を支援する仕組みを見直し、学校の負担を軽減するとともに、事業の効率性と有効性を高める。 | | | 学校と地域が一体となって教育力の向上を目指すことは重要。生涯学習振興会の協力を得て実施。地域のボランティア活動の活性化も助長する。 | | | | | 東部・団地地区と、西の里・西部・大曲地区に学校支援地域本部を設置、学校支援コーディネーターの配置、運営委員会等の開催 | |
| | | | | | 成果指標 | 取組み件数、ボランティア登録件数 | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | | A |
| 市計画<317> | 継続 | 統合 | 継続 | 継続 | | | | 市内2カ所に本部を設置し、各コーディネーターにより学校からの地域人材派遣などの希望に応える活動を実施した。 | | | | | 継続 | |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 6,577 | 6,587 | 6,587 | | | | | | | | | 3,061 | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 3-11-023-1 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 広げる | 改善する | | | | | | 平成24年度実績 | |
|----------------------------|--|---|--|--|--|-----|------|---|--|--|--|--|----------|--|
| 学校支援地域 本部事業 【拡大】 | 児童生徒にきめ細やかな授業を行い、授業への関心度・理解度を高めるため、小中学校に担任のほか、授業補助員を配置するほか、専門的指導者が必要な場合の外部講師を派遣し、指導の充実を図る。 | 授業補助員の配置 15校 25時間増 陽香分校・小学校 75時間配置 | 授業補助員を配置 15校 75時間増 陽香分校・小学校 200時間配置 (全16校で200時間配置) | 授業補助員を配置 15校 75時間増 陽香分校・小学校 200時間配置 (全16校で200時間配置) | 地域が学校を支援する仕組みを見直し、学校の負担を軽減するとともに、事業の効率性と有効性を高める。 | | | 学校と地域が一体となった教育力の向上を目指すことは重要。生涯学習振興会の協力を得て実施。地域のボランティア活動の活性化も助長する。 | | | | | / | |
| | | | | | 成果指標 | | | 取組み件数、ボランティア登録件数 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | | |
| 市計画<348> | 拡大 | 拡大 | 拡大 | 継続 | | | | | | | | | | |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 486 | 1,395 | 1,395 | | | | | | | | | | |

| 3-11-024 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 備える | 整える | 改善する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|------------------------|---|---------|--------|--------|---|-----|------|--|--|--|--|--|---|--|--------------|
| 中学校武道・ 伝統芸能導入 事業 | 新たに必修となる中学校保健体育科での武道について安心面・安全面に配慮した指導が行えるよう必要な物品等の整備を行う。 | H24事業終了 | | | 新たに指導内容として導入される中学校武道の指導に対し、円滑に実施できるよう準備をする。 | | | 新たに中学校の授業に導入される武道の指導を行うための備品整備は必要である。教科担任の資質向上を図るだけでなく、専門的指導者など地域の人材による協力が必要である。 | | | | | 空手道に必要な備品等を整備 空手マットの購入1,060枚 生徒貸与用空手道着の購入1,270着 教材消耗品の購入 | | |
| | | | | | 成果指標 | | | 教材、教具の整備状況 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | | | | | | |
| 市計画<227> | 終了 | 終了 | | | 武道種目の備品等購入。(マット・空手着) | | | | | | | | | | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | | | | 各学校において実施の空手道に必要な備品等を整備し、円滑に実施された。 | | | | | | | | | | 継続 10,358 |

| 3-11-025 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|------------------|---|---|----------------------|----------------------|---------------------------------------|-----|------|----------------------------------|--|--|--|--|---|--|-------------|
| 児童生徒の通 学費支援事業 | 保護者の経済的負担の軽減を図るため、遠距離通学等で、公共交通機関を利用して市立小中学校に通学している児童・生徒及び自家用車による送迎を常としている児童・生徒の保護者に対し、通学に要する経費の一部を助成する。 | 対象児童生徒の保護者に通学費の一部を支援 小学校2,511千円 中学校 283千円 | 対象児童生徒の保護者に通学費の一部を支援 | 対象児童生徒の保護者に通学費の一部を支援 | 遠距離通学に要する経費を支援し、平等に教育を受ける機会を確保。 | | | 遠距離通学に要する経費の経済的負担の軽減を図ることが必要である。 | | | | | 児童バス利用159人 児童自家用車利用19人 生徒バス利用12人 生徒自家用車利用9人 小学校2,164千円 中学校 251千円 | | |
| | | | | | 成果指標 | | | 支援件数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | | | | | | |
| 市計画<220> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 申請のあった遠距離児童生徒の保護者に通学費の一部を支援した。 | | | | | | | | | | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 2,794 | 3,294 | 3,295 | 通学費の一部を援助することにより、保護者の経済的負担の軽減が図られている。 | | | | | | | | | | 継続 2,415 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 3-11-026 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|----------------|--|----------|----------|----------|--|------|------|-----------|--|--|---|---|---------------|
| 高等学校等入学準備金支給事業 | 市内に住所を有し高等学校等に入学した生活困窮世帯の生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、入学時に必要となる経費の一部として、入学準備金を支援する。 | 入学準備金の支給 | 入学準備金の支給 | 入学準備金の支給 | 高等学校等へ入学する生徒の入学時に必要となる経費の一部を支援することによる保護者の経済的負担の軽減。 | | | | | | | 経済的な理由により就学が困難な生徒に対し、入学時に必要となる経費の一部を支援することは、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利、学習意欲の向上を図る上で必要である。 | 入学準備金を106名に支給 |
| | | | | | 成果指標 | 支援件数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | 平成24年度の評価 | | | A | | |
| 市計画<232> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 生活困窮世帯で高等学校等へ入学した生徒へ2万円の準備金を支給し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 | | | | | | | 保護者の経済的負担の軽減が図られるとともに、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利の保障が図られている。 | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 2,800 | 2,800 | 2,800 | | | | | | | | 2,120 | |

| 3-11-027 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|------------------|---|--|------------------------|------------------------|---|------|------|-----------|--|--|---|---|---|
| 要保護・準要保護児童生徒援助事業 | 生活保護世帯(要保護)や経済的困窮世帯(準要保護)の児童・生徒に対し、就学が必要となる学用品費等の援助を行うことで、平等に義務教育を受ける権利を保障する。 | 学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助 小学校62,079千円 中学校50,736千円 | 学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助 | 学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助 | 就学に必要な学用品費等を援助することによる平等に教育を受ける機会を確保と保護者の経済的負担の軽減。 | | | | | | | 経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対し、必要な経費を援助することは、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利、学力向上を図る上で必要である。 | 学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助 小学校58,217千円 中学校45,399千円 (準要保護) 児童813人 生徒422人 (要保護) 児童5人 生徒15人 |
| | | | | | 成果指標 | 支援件数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | 平成24年度の評価 | | | A | | |
| 市計画<221> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 義務教育を受ける上で必要となる経費について、支援し、保護者の経済的負担の軽減を図った。 | | | | | | | 保護者の経済的負担の軽減が図られるとともに、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利の保障が図られている。 | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 112,815 | 107,188 | 107,188 | | | | | | | | 103,616 | |

| 3-11-027-1 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|--------------------------|---|--------|--------------------------------|--------------------------------|--|------|------|-----------|--|--|--|---|--|
| 要保護・準要保護児童生徒援助事業 [拡大] | 準要保護の児童・生徒に対し、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費を就学援助の支給項目を追加する。 | | クラブ活動費、生徒会費、PTA会費を就学援助の支給項目を追加 | クラブ活動費、生徒会費、PTA会費を就学援助の支給項目を追加 | 準要保護の児童・生徒に対し、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費を就学援助の支給項目を追加による保護者の経済的負担の軽減。 | | | | | | | 経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対し、必要な経費を援助することは、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利、学力向上を図る上で必要である。 | |
| | | | | | 成果指標 | 支援件数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |
| 市計画< > | 拡大 | | 拡大 | 継続 | | | | | | | | | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 0 | 17,073 | 17,073 | | | | | | | | | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 3-11-028 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|----------|---|--|-------------------------------|-------------------------------|--|-----|------|---|--|--|--------|---|
| 奨学金支給事業 | 経済的な理由によって高等学校等の就学困難な学生及び生徒に対し、学資の一部を支給することにより、等しく教育を受ける機会を与える。 | 選考された奨学生に対し、奨学金を支給90名 基金積立(寄附金分) 500千円 | 選考された奨学生に対し、奨学金を支給90名 基金積立 | 選考された奨学生に対し、奨学金を支給90名 基金積立 | 高等学校等の就学に必要な学資等の一部として奨学金を支給することによる保護者への経済的負担の軽減。 | | | | | | | 選考された奨学生に対し、奨学金を支給 申請 119名 支給 87名 支給額 5,220千円 基金積立11,650千円 (寄附金) |
| 成果指標 | 奨学金支給人数/申請者人数 | | | | | | | | | | | |
| 市計画<233> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 A | | | 継続 | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 5,900 | 10,800 | 10,800 | 選考委員会で選考された者に奨学金を支給し経済的軽減を図れた。 | | | 経済的な理由により就学が困難な生徒に対し、学費等の経費の一部を支援することで、就学の一助となっている。 | | | 16,870 | |

| 3-11-029 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 広げる | 改善する | | | | | 平成24年度実績 |
|------------|--|--------------------|--------------------|--------------------|------------------------------|-----|------|--|--|--|-------|---|
| 私立学校教育振興事業 | 本市に本校を有する私立高等学校が行う教育活動を支援することにより、私立学校の教育環境の充実、保護者の負担軽減を図る。 | 市内に開校している札幌日大高校に助成 | 市内に開校している札幌日大高校に助成 | 市内に開校している札幌日大高校に助成 | 市内に開校している、札幌日大高校に対し補助金を交付する。 | | | | | | | 私立教育の振興、私立高校に通学している保護者の負担軽減のため、教材教具費等への支援を行うことは必要である。 |
| 成果指標 | 補助金の活用状況 | | | | | | | | | | | |
| 市計画<309> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 A | | | 継続 | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 1,350 | 1,350 | 1,350 | 札幌日大高校の特色ある教育活動の振興に寄与した。 | | | 札幌日大高校の特色ある教育活動に寄与するとともに保護者の負担軽減が図られたが、より特色をもった教育が図られるよう支援の拡大が必要である。 | | | 1,350 | |

| 3-11-101 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------------------------|------------------|--------|--------|--------|---|-----|------|---|--|--|----|----------|
| 義務教育施設整備基金利息積立 (教育振興経費) | 義務教育施設整備基金の利息を積立 | 基金利息積立 | 基金利息積立 | 基金利息積立 | 市の教育施策を継続し、着実に進める。 | | | | | | | 基金利息積立 |
| 成果指標 | 基金残高 | | | | | | | | | | | |
| 市計画<309> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 A | | | 継続 | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 200 | 200 | 200 | 小中学校の新增築及び用地取得を図り、教育環境を整備・充実するために積立てを行った。 | | | 小中学校の新增築及び用地取得を図り、教育環境を整備・充実するために必要である。 | | | 61 | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 3-11-102 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|----------------------|---|---|---------|---------|-------------------------------------|-----|-----------|--|------------------------------|--|----|-----------|
| 小学校管理経費 (小学校管理経費) | 施設維持管理用 消耗品・修繕料・光熱水 費・燃料費・手数料・委託 料・借上料ほか | 施設の維持管理 経常分 102,144千円 臨時分 741千円 管繕 4,420千円 | 施設の維持管理 | 施設の維持管理 | 学校教育施設の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。 | | | 学校に配分する経常的な経費については維持し、光熱水費等ランニングコストについては、各学校に節減喚起をし取り組んでもらう。 | | | | 施設の維持管理経費 |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 | | | | | | 継続 | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 107,305 | 102,144 | 102,144 | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | A | 経費の節減に努めるよう、各校に通達し、効果を上げている。 | | | 118,060 |

| 3-11-103 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|----------------------|---|---|---------|---------|-------------------------------------|-----|-----------|--|------------------------------|--|----|-----------|
| 中学校管理経費 (中学校管理経費) | 施設維持管理用 消耗品・修繕料・光熱水 費・燃料費・手数料・委託 料・借上料ほか | 施設の維持管理 経常分 82,357千円 臨時 3,868千円 管繕 4,960千円 補正 1,380千円 | 施設の維持管理 | 施設の維持管理 | 学校教育施設の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。 | | | 学校に配分する経常的な経費については維持し、光熱水費等ランニングコストについては、各学校に節減喚起をし取り組んでもらう。 | | | | 施設の維持管理経費 |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 | | | | | | 継続 | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 92,565 | 82,357 | 82,357 | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | A | 経費の節減に努めるよう、各校に通達し、効果を上げている。 | | | 91,450 |

| 3-11-104 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|-----------------------------|-----------|---------|--------|--------|--------------------|-----|-----------|--------------------|---------------------------------------|--|----|-----------------------------------|
| 西部小移転用地造成等償還経費 (小学校管理経費) | 西部小移転改築経費 | H24事業終了 | | | 市の教育施策を継続し、着実に進める。 | | | 西部小学校の移転改築経費を償還する。 | | | | 移転改築経費を償還 H25～27分の経費を繰上げ償還にて完済 |
| 経常経費 | 終了 | 終了 | | | 成果指標 進捗率 | | | | | | 継続 | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | | | | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | A | 西部小学校の移転改築経費を償還。 H25～27分の経費を繰上げ償還。 | | | 204,960 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 3-11-105 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 備える | 整える | 改善する | | | | | 平成24年度実績 | |
|----------------------------------|---|------------------------|------------------------|------------------------|---|-----|------|---|--|-----------|--|----------|-------------------|
| 中学校教育振興経費(学校教育課分) (中学校教育振興経費) | 平成24年度から中学校の音楽科で必修となる和楽器指導に必要な楽器(箏)を借上げる。 | 和楽器(箏)の借上げ (20面×6校) | 和楽器(箏)の借上げ (20面×6校) | 和楽器(箏)の借上げ (20面×6校) | 新たに指導内容として導入される中学校和楽器の指導に必要な楽器(箏)を整備する。 | | | 新たに中学校の授業に導入される和楽器の指導を行うための備品整備は必要である。教科担任の資質向上を図るだけでなく、専門的指導者など地域の人材による協力が必要である。 | | | | | 和楽器指導に必要な楽器(箏)を借上 |
| | | | | | 成果指標 | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | A |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 中学校の音楽科で必修となる和楽器指導に必要な楽器(箏)を借上げ | | | 中学校の音楽科で必修となる和楽器指導に必要な楽器(箏)を借上げし、円滑に指導が行なわれている。 | | | | | 新規 |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 480 | 480 | 480 | | | | | | | | | 422 |

| 3-11-106 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 備える | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|------------------------|---|-------------------|--------|--------|---------------------------------|-----|------|--|--|-----------|--|----------|----------------|
| 指導者養成講習 (中学校教育振興経費) | 平成24年度から中学校で必修となる武道指導にあたり、外部講師による指導者養成研修会を実施する。 | H24事業終了 他事業で実施 | | | 教員を対象とした研修会を開催することによる教職員の資質の向上。 | | | 武道の指導にあたり、教員の資質向上、質の高い教育を図るため研修会を行うことが必要である。 | | | | | 指導者養成講習会(6月開催) |
| | | | | | 成果指標 | | | 研修会回数 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | A |
| 経常経費 | 終了 | 終了 | | | 指導者養成講習会を開催した。 | | | 指導者養成講習会を開催し指導者の資質向上を図った。 | | | | | 新規 |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | | | | | | | | | | | | 0 |

| 3-11-107 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 備える | 続ける | 改善する | | | | | 平成24年度実績 | |
|----------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----|------|---|--|-----------|--|----------|----------------|
| 教育環境研究事業 (教育振興経費) | 新しい教育システムによる魅力ある教育活動が行なわれる学校づくり、質の高い学びを支える環境づくりなど、社会の変化や実態にあった教育環境の整備に取り組んでいくため、調査研究や教育実践を行う。 | 教育環境研究検討会(小中連携教育)の開催 実践校による調査研究 | 教育環境研究検討会(小中連携教育)の開催 実践校による調査研究 | 教育環境研究検討会(小中連携教育)の開催 実践校による調査研究 | 社会の変化に対応した学校教育の推進を検討し、質の高い教育環境を提供。 | | | 小中連携教育においては、義務教育9年間で小中が協働と連携を意識し、教育課程の連携や連続性のある指導体制を確立することが必要である。 | | | | | 各中学校区で連携協議会の設置 |
| | | | | | 成果指標 | | | 小中連携教育等の進捗状況 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | A |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 各中学校区での小中連携教育の検討を行った。 | | | 各中学校区で連携協議会を設置し、9年間を通じた教育課程や行事等の検討などを実施した。 | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | 0 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 3-11-108 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 |
|----------------------|--------------------------------------|-------------|-------------|-------------|--|-----|------|---|---|-----------|--|--|-----------------|
| 奨学生選考委員会 (教育振興経費) | 奨学生を選考するため、奨学生選考委員会を開催する。 選考委員 7名 | 奨学生選考委員会の開催 | 奨学生選考委員会の開催 | 奨学生選考委員会の開催 | 奨学生を選考するため、選考委員会に奨学生の選考について諮問し、答申をもらう。 | | | 選考にあたり、客観性、透明性を確保するため、教育行政に関して専門的な知識を有する者による審議は必要である。 | | | | | 奨学生選考委員会の開催(4月) |
| | | | | | | | | 成果指標 開催回数 | | | | | |
| | | | | | | | | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 選考委員会を開催し、奨学生 87名を選考した。 | | | | | 継続 | | | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 28 | 28 | 28 | | | | | | 24 | | | |

| 3-11-109 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 |
|----------------------------------|--|------------|------------|------------|---------------------------------|-----|------|--|---|-----------|--|--|--------------------------------------|
| 北広島市立小学校及び中学校通学区域審議会 (教育振興経費) | 通学区域を設定及び変更するため、通学区域審議会を開催する。 審議会委員 12名 | 通学区域審議会の開催 | 通学区域審議会の開催 | 通学区域審議会の開催 | 通学区域を設定及び変更するため、審議会に諮問し、答申をもらう。 | | | 通学区域の設定及び変更にあたり、客観性、透明性を確保するため、専門的な知識を有する者や関係者による審議は必要である。 | | | | | 該当なし 通学区域の変更等がなかったため、審議会の開催せず |
| | | | | | | | | 成果指標 開催回数 | | | | | |
| | | | | | | | | 平成24年度の評価 | - | 平成24年度の評価 | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 該当なし | | | | | 継続 | | | |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 48 | 48 | 48 | | | | | | 0 | | | |

| 3-11-110 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 |
|------------------------------------|--|---------------|---------|--------|----------------------------|-----|------|-------------------------------------|---|-----------|--|--|----------|
| 緑陽中学校フェンス設置事業 [新規] (中学校管理経費) | 緑陽中学校のグラウンドに設置のフェンスが老朽化しているため、フェンスを仮設修繕する。 | グラウンドフェンス仮設修繕 | H25事業終了 | | 良好で安全な教育環境維持するためのフェンス仮設修繕。 | | | 良好で安全な教育環境を維持するため、フェンス仮設修繕を行う必要がある。 | | | | | / |
| | | | | | | | | 成果指標 進捗率 | | | | | |
| | | | | | | | | 平成24年度の評価 | / | 平成24年度の評価 | | | |
| 経常経費 | 新規 | 新規 | 終了 | | | | | | | | | | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 620 | | | | | | | | | | | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 3-11-111 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | |
|---|---|-----------|-----------------|--------|-----------------------------------|-----|------|---|--|--|--|--|----------|---|
| 学校施設非構造部材耐震化事業 【新規】 (小学校・中学校管理経費) | 平成25年度中に文部科学省の「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック」に基づき屋内体育館の非構造部材の耐震化を図る。 | 非構造部材目視点検 | 《主要施策事業に変更して実施》 | | 良好な教育環境維持するための屋内体育館の非構造部材の耐震化を図る。 | | | 良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の非構造部材の耐震化を図る必要がある。 | | | | | | / |
| 経常経費 | 新規 | 新規 | | | 成果指標 | | | 進捗率 | | | | | | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 0 | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | | |

| 3-11-112 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | |
|-----------------------------|---|---------|--------|--------|-------------------------|-----|------|--------------------------------|-----------|--|--|---|----------|----------|
| 北の台小学校校舎屋上防水事業 (小学校管理経費) | 昭和45年に建設(東部中学校)され、老朽化が進み一般修繕では対応が難しいため、屋上防水工事を実施する。 | H24事業終了 | | | 良好な教育環境維持するための校舎屋上防水工事。 | | | 良好な教育環境を維持するため、屋上防水工事を行う必要がある。 | | | | | | 校舎屋上防水工事 |
| 経常経費 | 終了 | 終了 | | | 成果指標 | | | 進捗率 | | | | | | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | | | | 平成24年度の評価 | | | A | 平成24年度の評価 | | | A | 新規 | |
| | | | | | 屋上の防水工事を実施した。 | | | 屋上の防水工事を実施した。 | | | | | 10,647 | |

| 3-11-113 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | |
|--------------------------------|------------------------|---------|--------|--------|------------------------------------|-----|------|-------------------------------------|-----------|--|--|---|----------|------------------------|
| 大曲小学校管理者住宅取り壊し事業 (教員住宅管理経費) | 老朽化し使用していない管理者住宅を取り壊す。 | H24事業終了 | | | 良好な教育環境維持するため、老朽化している管理者住宅の取り壊し工事。 | | | 良好な教育環境を維持するため、管理者住宅取り壊し工事を行う必要がある。 | | | | | | 大曲小学校、朝日町の管理者住宅取り壊しを実施 |
| 経常経費 | 終了 | 終了 | | | 成果指標 | | | 進捗率 | | | | | | |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | | | | 平成24年度の評価 | | | A | 平成24年度の評価 | | | A | 新規 | |
| | | | | | 管理者住宅取り壊し工事を実施した。 | | | 管理者住宅取り壊し工事を実施した。 | | | | | 1,880 | |

政策4 学びあい、教えあう社会教育の推進

施策12 市民の学習活動への支援内容の充実

施策13 地域や世代を見据えた学習機会の充実

施策14 施設の充実による学習環境の整備

【施策12 市民の学習活動への支援内容の充実】

- 1 市民の学習活動に対する意欲に応えるため身近な学習機会の充実に努め、学びを通じたコミュニティづくりに向け、市民が主体的に取り組む学習活動を支援します。
- 2 社会教育関係団体や市民の主体的な学習活動に対し、団体が自ら個性ある活動を継続するための人材育成や団体運営に対する支援の充実に図るとともに、学んだ成果を生かす機会や相互に交流する場を提供します。
- 3 市内のそれぞれの地域が、個性豊かに地域の実情にあった学習活動を展開できるよう、市民と行政との協働による活動を推進します。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 4-12-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 改善する | | | | 平成24年度実績 |
|----------------|---|--|--|--|---|---|------|---|---|--|----------|
| 生涯学習市民活動団体支援事業 | 生涯学習の振興を図るため、市民団体が主体的に企画実施する生涯学習に関する事業への支援を行い、市民に多様な学習機会を提供するとともに、生涯学習に取り組む団体を育成する。 | 市民団体が企画した講座・発表会・コンサート等の事業に対し助成 対象経費の1/2以内 30万円を限度に助成 | 市民団体が企画した講座・発表会・コンサート等の事業に対し助成 対象経費の1/2以内 30万円を限度に助成 | 市民団体が企画した講座・発表会・コンサート等の事業に対し助成 対象経費の1/2以内 30万円を限度に助成 | 市民参加を促す事業として、継続的に支援を行っていくため、市民ニーズを捉え、事業内容の改善を行っていく。 | 生涯学習に関する事業を自ら企画・実施し、広く市民に発表する取組みを支援することは、生涯学習の振興並びにまちづくりの市民参加につながる。 | | | 市民団体が企画した講座・発表会・コンサート等事業に対し助成 8事業へ助成 | | |
| | | | | | 成果指標 | 支援団体数 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | 平成24年度の評価 | | | A |
| 市計画<258> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 市民の主体的な活動を支援するよう、事業内容を周知し活動を推進する。 | | | 市民活動の成果が、多くの市民に広がりをもち、生涯学習の振興やまちづくりにへと発展していくよう支援を進めていく。 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 1,500 | 1,500 | 1,500 | | | | | | | 1,367 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | | | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|--|--|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 4-12-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 広げる | 改善する | | | | | | 平成24年度実績 |
|---------------|---|---|------------------------|------------------------|--------------------------------------|-----|------|--|--|--|--|--|---|
| 元気フェスティバル連携事業 | 市民団体の交流や学習した成果を生かす場として、また、市民に生涯学習に関する興味・関心を深めてもらうため、元気フェスティバルを開催する。 | 「元気フェスティバルinきたひろしま」の開催 国民健康保険特別会計との支援割合75%に見直し | 「元気フェスティバルinきたひろしま」の開催 | 「元気フェスティバルinきたひろしま」の開催 | 生涯学習をテーマに交流する事業は少なく、さらなる拡充を目指す。 | | | 生涯学習活動の発表の場、異分野の交流の場として重要。 市民が主体となって取り組む実行委員会形式で実施。 | | | | | 「元気フェスティバルinきたひろしま」の開催 参加団体 67団体 3,250名参加 |
| | | | | | 成果指標 来場者数 | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 A | | | | | |
| | | | | | 事業の趣旨や内容について、現代的な課題を克服するための事業となっている。 | | | 実行委員会において、特に、子どもたちの参加増員と舞台発表内容の充実を図ったことにより、全体来場者増につながり、事業効果を上げることとなった。 | | | | | |
| 市計画<259> | 継続 | 見直し | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 675 | 675 | 675 | | | | | | | | | 543 |

| 4-12-003 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 広げる | 改善する | | | | | | 平成24年度実績 |
|-------------|---|--|--|--|--|-----|------|---|--|--|--|--|--|
| 生涯学習振興会支援事業 | 生涯学習の振興や地域づくり・コミュニティ活動の要として、各地区に設立された住民主導の組織「生涯学習振興会」を支援する。各地区振興会へ事務職員の配置。 生涯学習推進アドバイザーを各地域の担当として配置する。 | 生涯学習推進アドバイザー 4名任用 西部・西の里・大曲・東部地区の生涯学習振興会に事務職員4名配置、事業費の助成(交付金) | 生涯学習推進アドバイザー 4名任用 西部・西の里・大曲・東部地区の生涯学習振興会に事務職員4名配置、事業費の助成(交付金) | 生涯学習推進アドバイザー 4名任用 西部・西の里・大曲・東部地区の生涯学習振興会に事務職員4名配置、事業費の助成(交付金) | 市街地が分散している本市の特徴を生かした他市に例のない事業である。未設置地域へ設置し、本事業を拡大する。 | | | 地域の生涯学習の振興にとって中心となる組織。地域コミュニティの醸成にも貢献する組織で、学校支援、子育て支援など、様々な展開が可能。 市民参加が活発に行われている組織 | | | | | 西部・西の里・大曲・東部地区の生涯学習振興会に事務職員4名配置し事業費の助成。 生涯学習推進アドバイザー 4名任用 |
| | | | | | 成果指標 事業数、事業参加者数 | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 A | | | | | |
| | | | | | 振興会が開催する事業について地域に定着し、内容も充実してきている。 | | | 各振興会とともに、地域の主体的な活動が定着し、関係事業においても、その質及び内容の充実が図られ、コミュニティの醸成にも効果を上げている。 | | | | | |
| 市計画<313> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 拡大 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 18,031 | 18,304 | 18,304 | | | | | | | | | 16,844 |

| 4-12-003-1 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 広げる | 改善する | | | | | | 平成24年度実績 |
|---------------------|---|--------|----------------------------------|----------------------------------|--|-----|------|---|--|--|--|--|----------|
| 生涯学習振興会支援事業 [拡大] | 生涯学習の振興や地域づくり・コミュニティ活動の要として、新たに北広島団地地区に設立される住民主導の組織「生涯学習振興会」に、生涯学習推進アドバイザー及び事務職員を配して支援する。 | | 北広島団地地区生涯学習振興会に助成アドバイザー及び事務職員の増員 | 北広島団地地区生涯学習振興会に助成アドバイザー及び事務職員の増員 | 市街地が分散している本市の特徴を逆に生かした、希有な事業。未設置地域へ設置し、本事業を拡大。 | | | 地域の生涯学習の振興にとって中心となる組織。地域コミュニティの醸成にも貢献する組織で、学校支援、子育て支援など、様々な展開が可能。 市民参加が活発に行われている組織 | | | | | |
| | | | | | 成果指標 事業数、事業参加者数 | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |
| 市計画< > | 拡大 | | 拡大 | 継続 | | | | | | | | | |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | | 4,701 | 4,701 | | | | | | | | | |

【施策13 地域や世代を見据えた学習機会の充実】

- 1 各世代別での学習ニーズに応え、産・学・官・民の連携を図り、多様で豊かな学習機会や交流機会の提供を推進します。
- 2 社会の要請や個人の多様な学習ニーズに対応するため、実情に合った学習機会の提供を推進します。
- 3 市民の多様な学習ニーズに的確に対応することや、主体的な学習活動を支援するため、教育情報提供システム「学び舎・楓」の充実に努め、学習活動への効果的な支援を促進します。
- 4 市民の主体的な学習をサポートするため、IT予約システムなどにより、社会教育施設や公共施設のネットワーク化を図ります。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 4-13-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 改善する | | | | 平成24年度実績 |
|-------------------|---|--|--|---------|---|--------|------|--|-----------|---|--|
| 国際交流事業 | 海外とのさまざまな交流により、生きた外国の文化、風俗、社会事情を体得し、異文化への理解を深め、広い国際的視野と豊かな国際感覚をもった人材を育てるため、国際交流協会を支援する。 | 国際交流協会が実施するカナダ・サスカトゥーン市への交流派遣 市民交流事業の実施への支援 | 国際交流協会が実施するカナダ・サスカトゥーン市の交流受入れ 市民交流事業の実施への支援 | H26事業終了 | カナダ・サスカトゥーン市との交流は継続。 | | | 豊かな国際感覚を持った人材の育成は、重要。市民が主体となった事業展開が必要。 | | | カナダ・サスカトゥーン市の交流受入れ（生徒22名、引率4名） 市民交流事業の実施（41名参加） |
| | | | | | 成果指標 | 事業参加者数 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | 平成24年度の評価 | A | |
| 市計画<323> 社会教育課 | 継続 事業費(千円) | 継続 1,490 | 継続 420 | 廃止 0 | 交流受入れは、予定通りプログラムを行うことができた。 交流講演会は多くの参加を得ることができた。 | | | 交流受入れは、予定通りプログラムを行うことができ、アンケートの結果も概ね良好であった。 講演会は内容を団体に協議し、市民に提供することにより、国際理解の一助となった。 | | | 継続 313 |

| 4-13-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 改善する | | | | 平成24年度実績 |
|-------------------|----------------------------------|---|---|---|---|--------|------|---|-----------|---|---|
| フレンドリーセンター運営事業 | 障がい者と健常者が生涯学習活動を通じて学び交流する場を提供する。 | 陶芸教室、料理教室 サッカー教室、体操・レクリエーション教室等の開催、スポーツ観戦事業、野外レク、スキー教室事業等の実施 施設管理 | 陶芸教室、料理教室 サッカー教室、体操・レクリエーション教室等の開催、スポーツ観戦事業、野外レク、スキー教室事業等の実施 施設管理 | 陶芸教室、料理教室 サッカー教室、体操・レクリエーション教室等の開催、スポーツ観戦事業、野外レク、スキー教室事業等の実施 施設管理 | 障がい者と一緒に学び交流する本市独自の事業。会員の高齢化、施設の老朽化などの課題の検討が必要。 | | | 障がい者が地域社会に積極的に溶け込んでいくための環境づくり事業として重要。 市民、各種団体、学校教員等の参加・協力を得て実施している。 | | | 陶芸教室、料理教室の開催、スポーツ観戦事業、野外レク、スキー教室、体操・レクリエーション教室の実施のべ271名参加 施設管理 |
| | | | | | 成果指標 | 事業参加者数 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | 平成24年度の評価 | A | |
| 市計画<261> 社会教育課 | 継続 事業費(千円) | 継続 1,035 | 継続 1,070 | 継続 1,070 | アンケートの回答等により新規事業を実施するなど、効果的な事業展開に努めている。 | | | 対象となる多くの方々に参加を呼びかけ事業を実施しており、参加者数も増加し交流機会としても充実している。ボランティアの参加により効果的に事業が行われている。 | | | 継続 884 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 4-13-003 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 整える | 改善する | | | | | 平成24年度実績 | |
|-------------|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--|-----|------|---|--|-----------|--|----------|---|
| 中央公民館活動推進事業 | 市民の公民館活動に対する理解や関心を深めるとともに、市民やサークル、子ども等の相互交流の場を提供し、市民の主体的な学習活動の発表の機会を提供する。 | ワクワク公民館子どもまつり及び公民館まつりの実施 | ワクワク公民館子どもまつり及び公民館まつりの実施 | ワクワク公民館子どもまつり及び公民館まつりの実施 | 市民の主体的な活動をさらに助長するため、生涯学習振興会との連携について検討を進める。 | | | 生涯にわたる学習環境の提供、世代間の交流の推進。 市民参加による事業の企画・運営。 | | | | | ワクワク公民館子どもまつりの実施、(1,000名) 公民館まつりの実施、(950名) |
| | | | | | 成果指標 | | | 事業参加者数 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | A |
| | | | | | 関係する事業に関して、実行委員の主体性を尊重し、適切な支援を行うことができた。 | | | 関係団体により組織された実行委員会が事業運営に一層主体的に運営できるよう、運営体制を見直していくことが必要である。 | | | | | |
| 市計画<262> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 355 | 355 | 355 | | | | | | | | | 350 |

| 4-13-004 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|------------------|--|---|-----------------------|-----------------------|---|-----|------|---|--|-----------|--|----------|-------------------------------|
| 生涯学習支援情報システム整備事業 | 図書館情報システム・施設予約管理システム・生涯学習情報提供システムからなる生涯学習支援情報システム「新学び舎・楓」を活用し、図書館及び生涯学習の拠点施設が持つ学習機能を充実させる。 | 「新学び舎・楓」(しん・まなびやふう)の活用による学習機会の充実 次期更新の検討 | 新システムの稼働と運用による学習機会の充実 | 新システムの稼働と運用による学習機会の充実 | 図書館システムや施設予約システム、各種ホームページなど、機能は多岐に渡っているため、所管課等の検討は必要。 | | | 学習情報の提供、施設利用の利便性向上。 庁内インフラを活用し、多くの部局の集会施設の管理を一元化しているため、緊密な連絡調整が必要である。郷土資料管理システムは、コア施設開設と同時にクラウド型へ分離する。 | | | | | 教育情報提供システムの借上げ (図書館他全39施設) |
| | | | | | 成果指標 | | | 導入施設数 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | A |
| | | | | | 施設利用の利便性の向上など、十分に機能している。 | | | 施設予約システムの所管課が課題。 | | | | | |
| 市計画<314> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費(千円) | 19,144 | 15,558 | 15,558 | | | | | | | | | 19,305 |

【施策14 施設の充実による学習環境の整備】

- 生涯学習活動の推進や社会教育の充実に向け、市民がより利用しやすい社会教育施設の運営を図ります。
- 市民の主体的な学習活動を支援するための学習環境を整備するとともに、既存施設の有効活用を図ります。
- 学習や研修の機会を提供する公民館施設の充実を図るとともに、地域コミュニティの拠点として計画的な整備を進めます。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 4-14-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 備える | 整える | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|--------------|---|--------|-------------------|-----------|----------------------------------|-----|------|--|--|--|--|--|-----------------|
| 中央公民館大規模改修事業 | 生涯学習の拠点施設として重要な役割を担う中央公民館は昭和49年に開設し、経年劣化が著しいことから、市民にとって安全で利用しやすい施設とするため、大規模改修を行う。 | 実施設計 | 大規模改修工事 工事施工監理 | 《H26事業終了》 | 利用者の意見を反映し、利用しやすい施設とするため、改善を進める。 | | | | | | | 市民の生涯学習、交流の場としての中核的施設。高齢者や障がい者が利用しやすい施設への転換。 | 事業実施要望 (防衛省) |
| | | | | | 成果指標 | 進捗率 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | | | 平成24年度の評価 | A |
| 市計画<315> | 継続 | 継続 | 継続 | 終了 | 防衛省との事前の協議を実施。 | | | | | | | 施設の改修のための方針を建設部と協議。 | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 7,600 | 270,402 | | | | | | | | | | 0 |

| 4-14-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 備える | 整える | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|------------|---|--------|--------|----------------|----------------------------------|-----|------|--|--|--|--|--|--|
| 西の里公民館改修事業 | 生涯学習の拠点施設として重要な役割を担う西の里公民館は昭和51年に開設し、経年劣化が著しく、耐震診断基準値を下回っていることから、改修を行う。 | | 実施設計 | 改修工事 工事施工監理 | 利用者の意見を反映し、利用しやすい施設とするため、改善を進める。 | | | | | | | 市民の生涯学習、交流の場としての中核的施設。高齢者や障がい者が利用しやすい施設への転換。 | |
| | | | | | 成果指標 | 進捗率 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | | | | | 平成24年度の評価 | |
| 市計画< > | 新規 | | 新規 | 継続 | | | | | | | | | |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | | 1,200 | 4,910 | | | | | | | | | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 4-14-101 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | | | | | |
|---------------------------------|--|----------------------------------|--------|--------|---------------------------------------|-----|------|---|--|---|-------|----------|--|-----------|--|--|---|
| 林間学園・レクリエーションの森開放事業 (社会教育経費) | 自然体験・憩いの場として林間学園・レクリエーションの森を開放する 開園期間 4月第4土曜日～10月31日 | 維持管理経費 経常 5,602千円 臨時 326千円 | | | 施設が老朽化しているため、点検を怠らない。 | | | マチの中央に位置し、自然をそのまま生かしている本市のまちづくりの象徴的な施設。市民が自然に触れ合い、憩う場として貴重。 | | | | | 維持管理経費 アスレチック施設ほか修繕 Fアスレチック修繕箇所3カ所 来場者28,243人 | | | | |
| | | | | | | | | 成果指標 | | 利用者数 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 平成24年度の評価 | | A | | | | 平成24年度の評価 | | | B |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 管理運営に関しては、監視活動を充分に行い、環境整備・安全確保に努めている。 | | | | | 施設の老朽化が進み順次改修を進めているが、安全確保の視点から、十分な点検・整備・改修が必要である。 | 継続 | | | | | | |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 5,928 | 5,610 | 5,610 | | | | | | | 6,101 | | | | | | |

| 4-14-102 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 備える | 整える | 改善する | | | | | 平成24年度実績 | | | | | |
|----------------------------|------------------------|--------------|---------|--------|------------------------------|-----|------|---------------------------------|--|-----|--|----------|---|-----------|--|--|---|
| フレンドリーセンター解体事業 (社会教育経費) | フレンドリーセンター電気窯2台移動に係る経費 | 電気窯2台移動に係る経費 | H25事業終了 | | 老朽化の進む施設の機能を見直し、設備の有効活用に努める。 | | | 新たに開設する関係施設に機能を移管し、設備の有効活用に努める。 | | | | | / | | | | |
| | | | | | | | | 成果指標 | | 進捗率 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 平成24年度の評価 | | / | | | | 平成24年度の評価 | | | / |
| 経常経費 | 新規 | 新規 | 終了 | | | | | | | | | | | | | | |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 185 | | | | | | | | | | | | | | | |

| 4-14-103 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | | | | | |
|----------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|---------------------------|-----|------|--|--|--|--------|----------|---|-----------|--|--|---|
| 公民館管理事業 (公民館管理経費) | 中央・西の里公民館維持管理経費 活動車・借上車経費 | 中央・西の里公民館維持管理経費 活動車・借上車経費 | 中央・西の里公民館維持管理経費 活動車・借上車経費 | 中央・西の里公民館維持管理経費 活動車・借上車経費 | 施設が老朽化しているため、点検を怠らない。 | | | 市民の生涯学習、交流の場としての中核的施設。大規模改修後の管理方法の検討が必要。 | | | | | 中央・西の里公民館維持管理経費 活動車・借上車経費 自動ドア修繕等実施 | | | | |
| | | | | | | | | 成果指標 | | 団体利用登録団体数 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 平成24年度の評価 | | A | | | | 平成24年度の評価 | | | A |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 老朽化に伴う、突発的な施設の不具合に随時対応した。 | | | | | 施設の老朽化が著しいことから、計画的な改修や、活動のニーズにあった設備の見直しが必要である。 | 継続 | | | | | | |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 11,920 | 9,776 | 11,937 | | | | | | | 11,809 | | | | | | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|--|--|--|--|----------------------------------|--------|--|--|--|--|-----------|---------------------------------|
| 4-14-104 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
| 社会教育施設 等草刈経費 (社会教育経 費) | 社会教育施設等(駅西口広 場・中央公民館・西の里公 民館・レクの森)の草刈を 実施 | (駅西口広場・中央 公民館・西の里公民 館・レクの森)草刈 り委託 | (駅西口広場・中央 公民館・西の里公民 館・レクの森)草刈 り委託 | (駅西口広場・中央 公民館・西の里公民 館・レクの森)草刈 り委託 | 社会教育関係施設の環境整備に 努める。 | | 施設の環境整備に努める。 | | | | | (駅西口・公民 館・南町教員住宅 ほか)草刈り委託 |
| | | | | | 成果指標 | 草刈実施回数 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | | 平成24年度の評価 | B |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 快適に利用を促すため、関係施 設の環境の整備は必要である。 | | 施設の状況に応じた、施工の内容を検討し、効率的 な委託内容により実施していく。 | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 424 | 424 | 424 | | | | | | | | 413 |

政策5 郷土愛を育む教育活動の推進

施策15 エコミュージアム構想の展開

施策16 文化財の保存と活用

【施策15 エコミュージアム構想の展開】

- 文化遺産の継承を図るため、郷土の歴史資料や伝統的遺産の保存・活用を進めるとともに、市民の文化財を大切に守る心を培い、市民が身近に郷土文化財などにふれることができるようエコミュージアム構想を推進します。
- 郷土に関する学習や、体験学習を通して、郷土の歴史や伝統的遺産を大切に守る心を培い、自らのまちを誇りに思う郷土愛を育む学習機会を提供します。
- エコミュージアム構想を推進し、各地域の自然遺産・歴史遺産・産業遺産等を現地において保全・活用する環境を整備します。
- 重要な郷土資料の保全し、市民参加、情報サービスの発信・提供、資料の展示等、学校等と連携した郷土の教育普及活動を充実します。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | | | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|---|--|---|---|--|-----|------|--|--------------|-------------|------------|--------------|---|
| | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |
| 5-15-001 | 事業内容 エコミュージアム普及推進事業 市内各地に存在する自然遺産や文化遺産などを現地において、そのまま保存・育成・展示することを通して魅力ある地域づくり・まちづくりを行政と市民が協働して進めることを推進する。 | 平成25年度 まちを好きになる市民大学の開講、市内見学バスツアーの実施 自然遺産・歴史遺産等の魅力を後世に伝える体験学習や講演会の開催 エコミュージアム郷土体験学習事業を統合 | 平成26年度 まちを好きになる市民大学の開講、市内見学バスツアーの実施 自然遺産・歴史遺産等の魅力を後世に伝える体験学習や講演会の開催 | 平成27年度 まちを好きになる市民大学の開講、市内見学バスツアーの実施 自然遺産・歴史遺産等の魅力を後世に伝える体験学習や講演会の開催 | めざす | 拡げる | 改善する | 市民自らが遺産を保存・活用し、まちを守り育てていく観点が根本。 北広島市エコミュージアム推進委員会など、多くの市民との協働と、観光等関係機関との連携が必要。 | | | | | 平成24年度実績 まちを好きになる市民大学生及び特別講演会81名、市内見学バスツアー78名 まちを好きになる市民大学卒業15名 「まちを好きになる市民大学OB会」会員35名(任意団体H25.2月現在) |
| 市計画<266> | 継続 | 統合 | 継続 | 継続 | 成果指標 | | | 事業参加者数 | | | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費(千円) | 666 | 748 | 748 | 平成24年度の評価 | | | A | | | | | 453 |
| | | | | | まちを好きになる市民大学や市内見学バスツアーなどの継続により、北広島の魅力を多くの市民に提供できている。 | | | 「まちを好きになる市民大学」卒業生はOB会(任意団体)として遺産の調査を行い、その成果を発表しその魅力を多くの市民に発信しているが、今後の育成・支援方針が課題。 | | | | | |
| 5-15-002 | 事業内容 エコミュージアム郷土体験学習事業 郷土に関する学習や体験学習を通して、郷土の歴史や伝統的遺産を大切に守る心を培い、自らのまちを誇りに思う郷土愛を育む学習機会を提供する。 | 平成25年度 エコミュージアム普及推進事業に統合 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 拡げる | 改善する | 学校教育での展開も含め体験型の学習機会の充実が重要。 郷土学習などでの身近な体験学習は生涯学習の足元を作るものである。 市民が市民に伝える事業づくりが課題。 | | | | | 平成24年度実績 エルフィンロード昆虫採集教室17名 レクの森 カンジキウォーキング30名(予定) 普及体験教室(仮称)6名(予定) |
| 市計画<330> | 統合 | 統合 | | | 成果指標 | | | 事業参加者数 | | | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費(千円) | | | | 平成24年度の評価 | | | B | | | | | 124 |
| | | | | | 体験事業を通し、市の自然や環境を活かし郷土の魅力の再発見・再認識できる事業を行ってきた。 | | | 体験型の学習会を通して、まちの魅力を伝えることは、エコミュージアム普及推進事業と同様と考えるため、これに統合し効率化を図る。 | | | | | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 5-15-003 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 広げる | 改善する | | | | | 平成24年度実績 | | | | | | |
|------------------|---|-----------------------|----------|------------------|--------------------------------------|-----|------|---|--|--|--|-------------------------------|--|-----|-----------|---|--|--|
| 旧島松駅通所 周辺整備事業 | 多くの市民が駅通所を訪れ、開拓の歴史に対する理解を深めてもらえるよう、旧島松駅通所周辺を整備する。 | 周辺整備の基本的考え方となる整備計画の策定 | 実施設計及び測量 | 周辺整備工事 工事施工管理 | 隣地の史跡拡大を目指し、エコミュージアムのサテライト施設として活用する。 | | | 駅通所は、歴史を正しく伝えるうえで国民の財産と成り得る史跡であり、国や地域の理解や協力を得て進める必要がある。 | | | | 北海道札幌建設管理部との協議・調整 関係各部との調整 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | 成果指標 | 進捗率 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | 平成24年度の評価 | B | 平成24年度の評価 | B | | |
| | | | | | | | | | | | | | 内部調整及び北海道札幌建設管理部との調整を進めた。周辺整備の基本的考え方となる整備計画の策定に着手した。 | | | | | |
| 市計画<267> | 継続 | 見直し | 継続 | 継続 | | | | | | | | 継続 | | | | | | |
| 文化課 | 事業費(千円) | 0 | 3,610 | 36,939 | | | | | | | | 0 | | | | | | |

| 5-15-004 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 広げる | 改善する | | | | | 平成24年度実績 | | | | | | |
|-----------------------|--|---------------|------------|-----------------------|------------------------------------|-----|------|---|--|--|--|--|---|-----|-----------|---|--|--|
| エコミュージアム拠点施設等 整備事業 | 従来の博物館的要素のみならず、地域に残る「事・物」を現地で保存・保管し、それらの情報の発信や郷土資料の展示等を行う施設として、エコミュージアムを進める上での拠点施設を整備する。 | 拠点施設の改修、備品の購入 | 拠点施設の開館・運営 | 《H26事業終了》運営(管理的経費に移行) | エコミュージアム構想を進める上で不可欠な拠点施設として準備していく。 | | | 生涯学習における学習環境整備として重要課題である。 市民と行政の協働の観点から住民が主体的に参加する場を保証する機能(解説等)を併せ持つ必要がある。 | | | | エコミュージアム・コアセンターの設置及び運営に係る方針の決定 関係各部との調整及び協議 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | 成果指標 | 進捗率 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | B | | |
| | | | | | | | | | | | | | 設置及び運営に関する方針を策定するとともに、開設に伴う備品リストの作成など、開設に向けて準備を進めた。 | | | | | |
| 市計画<331> | 継続 | 見直し | 継続 | 終了 | | | | | | | | 継続 | | | | | | |
| 文化課 | 事業費(千円) | 9,247 | 5,085 | | | | | | | | | 0 | | | | | | |

【施策16 文化財の保存と活用】

- 1 史跡や歴史資料を適切に保存するとともに、その活用により歴史と文化に対する市民の理解を深め、貴重な文化財の保護を進めます。
- 2 郷土の歴史、自然等の調査研究や資料の収集保存を進めます。また、市文化財の指定を行い、保存します。
- 3 郷土文化、伝承事業に対する支援を進めます。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 5-16-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 改善する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|-----------------|--|--|--|--|--|-----|------|--|----------------|--|--|--|----------|---|-------------|
| 文化財保存・活用事業 | 本市の文化財や郷土資料を周知し、郷土に対する愛着とふるさと意識の高揚を図るため、また、国指定文化財、北広島市文化財保護審議会(委員10名)が指定する市指定文化財、郷土の自然及び歴史を後世に伝えるため、適切な保存と活用を図る。 | 旧島松駅通所と東記念館の維持管理及び開館事業の実施、北広島市水稲赤毛種保存会に助成 文化財保護審議会の開催(2回) | 旧島松駅通所と東記念館の維持管理及び開館事業の実施、北広島市水稲赤毛種保存会に助成 文化財保護審議会の開催(2回) | 旧島松駅通所と東記念館の維持管理及び開館事業の実施、北広島市水稲赤毛種保存会に助成 文化財保護審議会の開催(2回) | 遺産を後世に伝えていくためには、適切な保存・管理が必要だが、継続的な手当てと、計画的なメンテナンスが必要である。 | | | 生涯学習における学習環境整備として重要な課題である。 まちの遺産は、その地域の協力なしには保存されないものであり、理解と協力が必要。 | | | | | | 旧島松開館日数 163日間(4月28日～11月3日) 入館者数:2,662名 東記念館開放日数 28日間(12月未現在) 入場者数:1,217名 北広島市水稲赤毛種保存会への助成 | |
| 市計画<268> 文化課 | 継続 事業費(千円) | 継続 5,164 | 継続 5,212 | 継続 5,212 | 市民の郷土意識の高まりにより旧島松駅通所及び東記念館収蔵室の来場者が増加している。 | | | 今後も文化財の適切な保存活用に努める一方、赤毛種の保存に関しては、保存団体の高齢化及び作付面積等が課題となる。また、文化財保護審議会による市指定文化財の有無についての調査を進める。 | 平成24年度の評価 A | | | | | 平成24年度の評価 B | 継続 7,650 |

| 5-16-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|-----------------|------------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|--|-----|------|---|----------------|--|--|--|----------|---|-----------|
| 郷土文化伝承支援事業 | 本市の郷土芸能を後世に伝えるため、保存・継承している団体を支援する。 | 広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に助成 | 広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に助成 | 広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に助成 | 伝統芸能と呼ぶには歴史が浅いが、北広島郷土芸能振興を目的に継続する。 | | | 郷土芸能は地域に根ざしたものであり、多くの市民による保存伝承活動が必要である。 郷土芸能の振興は、祭りや式典などでの演目等まちづくりへの貢献の一環としても大切な事業である。 | | | | | | 北広島ふるさと太鼓保存会 会員22名 広島音頭保存会 会員55名 | |
| 市計画<333> 文化課 | 継続 事業費(千円) | 継続 212 | 継続 212 | 継続 212 | 北広島には伝統芸能と呼ばれるものは少ないが、確実に受け継がれていくことにより、評価できる伝統芸能に発展していく。 | | | 会員の高齢化や活動の活性化・活用機会等、伝統文化の継承の視点から支援方針についての在り方が課題となる。 | 平成24年度の評価 A | | | | | 平成24年度の評価 B | 継続 212 |

政策6 生涯にわたる読書活動の推進

施策17 図書館サービスの充実

施策18 子どもの読書活動推進

【施策17 図書館サービスの充実】

- 1 市民が求める資料と情報の提供を図るため、図書や雑誌などの資料の充実に努めるとともに、市民が利用しやすい環境づくりを進めます。
- 2 地域・学校の読書ネットワークを整備し、読書を楽しみ、学びあう市民意識を醸成します。
- 3 図書館フィールドネットなどの市民との協働により、乳幼児から高齢者までの生涯を通した読書活動の充実をめざします。
- 4 図書館や北広島団地住民センター、西の里公民館の図書室などの整備・拡充を図ります

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 6-17-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|-------------|---|--|--|--|--|-----|------|--|--|--|--|--|----------|--|--------|
| 図書館サービス提供事業 | 図書館が行っている図書の貸出・リクエスト・予約やレファレンス・相互貸借などの基本的サービスのほか、利用価値の高い図書館サービスを提供する。 | 図書や視聴覚資料等の購入、情報検索データベースの活用、高齢者への図書の宅配、高齢者のための大活字本・視聴覚資料などの購入、宅配ボランティアの養成 | 図書や視聴覚資料等の購入、情報検索データベースの活用、高齢者への図書の宅配、高齢者のための大活字本・視聴覚資料などの購入、宅配ボランティアの養成 | 図書や視聴覚資料等の購入、情報検索データベースの活用、高齢者への図書の宅配、高齢者のための大活字本・視聴覚資料などの購入、宅配ボランティアの養成 | 現状のサービス水準を維持し、市民要望に対する点検を怠らないこと。 | | | 生涯にわたる学習環境の充実にとって、図書館は重要な位置を占める。 窓口業務委託の継続 | 図書、定期刊行物の購入等。 蔵書数 312,630冊 (本館・地区図書室) 貸出数 522,593冊/年(本館・地区図書室) 高齢者等図書宅配サービス「タヤけ便」の開始 | | | | | | |
| | | | | | 成果指標 予約貸出率(達成件数/年間リクエスト総数) | | | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 A | | | | | | | |
| | | | | | 資料費・閉館時間など近隣市と比較しても上位。利用率も道内トップクラスを維持している。 | | | 宅配ボランティアの養成を行い、新たに高齢者等図書宅配サービスを実施。資料の貸出などサービスの範囲を拡大することができた。 | | | | | 拡大 | | |
| 市計画<269> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | | | 20,971 |
| 文化課 | 事業費(千円) | 21,023 | 21,162 | 21,162 | | | | | | | | | | | |

| 6-17-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 続ける | 改善する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|-----------------|---|---------------------|---------------------|---------------------|---|-----|------|--|---|--|--|--|----------|--|-------|
| 図書館フィールドネット連携事業 | 図書館のボランティア団体で構成する図書館フィールドネット運営委員会を支援し、読書の普及を促進する。 | 図書館フィールドネット運営委員会に助成 | 図書館フィールドネット運営委員会に助成 | 図書館フィールドネット運営委員会に助成 | 市民参加による読書振興・図書館運営という点で稀有な活動。 | | | 視覚障がい者への朗読・点訳活動、破損した図書の修理などのサービスの充実に大きく貢献している。 読書まつり等の普及イベントを実施。 | 読書まつり、古本ばくりっこ等の読書普及イベントで、年間約12,000人を集客。 | | | | | | |
| | | | | | 成果指標 参加者数 | | | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 B | | | | | | | |
| | | | | | 市民協働による図書館運営の基盤であり、持続性を持つものであるが、効率性などをさらに検討する必要がある。 | | | 他の自治体に例をみない市民協働による読書活動推進モデルである。市民要望の反映やメンバーの増員など、活動のさらなる活性化に向けた指導・育成が必要。 | | | | | 継続 | | |
| 市計画<270> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | | | 1,500 |
| 文化課 | 事業費(千円) | 1,500 | 1,500 | 1,500 | | | | | | | | | | | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 | |
|-----------------------------------|--|---|-----------------------------------|-----------------------------------|--|--------------|--------------|--|------------|--------------|----------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | | |
| 6-17-104 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
| 読書環境整備 事業 (図書館運営 経費) | 点訳・朗読サービス用備品 他、関係普及事業用具の購 入、団地住民センター・西 の里公民館の地区分室の拠 点化に向けた検討 | 点訳・朗読サービス 用備品他、関係普及 事業用具の購入 (紙折機の更新) | 点訳・朗読サービス 用備品他、関係普及 事業用具の購入 | 点訳・朗読サービス 用備品他、関係普及 事業用具の購入 | 使用限界を超えた印刷機器等の 更新など、点検を怠らないよう 注意。 | | | 新たなコミュニティ施設の新設などの機会があれば、 団地住民センター・西の里分館などの拡充を図 る。 | | | | 平成24年度実績 |
| | | | | | 成果指標 更新件数 資料数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 B | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 開館からの備品が劣化している ものも多くなってきているた め、点検・更新を継続してい く。 | | | 団地住民センター・西の里分館では、高齢者を中心 とした利用が伸びている。今後の整備が課題となっ ている。 | | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費(千円) | 239 | 300 | 300 | | | | | | | 343 | |

【施策18 子どもの読書活動推進】

- 1 市民との協働を踏まえながら、新たな「北広島市子どもの読書活動推進計画」を策定し(H23策定済)、学校図書館を中心とした読書環境整備を進めます。
- 2 学校図書館においては蔵書の充実に努めるとともに、幼稚園・保育園とのネットワーク化を推進します。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 | |
|-------------------------------------|--|-----------------|---|---|--|--------------|--------------|--|------------|--------------|----------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | | |
| 6-18-101 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 広げる | 改善する | | | | | 平成24年度実績 |
| 幼児読書活動 推進事業 (図書館運営 経費) | 子どもの読書推進計画に基づき、 就学前の幼児に身近で図書館に親しむ 取組みとして、幼児絵本の巡回配置 を実施する。幼稚園・保育園各1園を 対象に、「小豆」として試験実施してお り、本格実施する。 | 幼児絵本800冊の 補充 | 幼児絵本600冊の 補充、18箱の製 作。 実施園数を拡大。 | 幼児絵本600冊の 補充、18箱の製 作。 実施園数を拡大。 | 小学校で行われている通称「豆 次郎」の幼年版として計画。幼 児の読書活動推進にとって、独 自性の高い活動。 | | | 学校教育から幼児、乳幼児まで読書活動の推進を 図ることは、生涯にわたる読書活動の推進にとつて 重要。 学校・幼稚園・保育園との連携による。 | | | | 平成24年度実績 |
| | | | | | 成果指標 実施園率 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 B | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 幼児の読書活動推進事業「小 豆」は、昨年度より1園増え、 3園で試験実施した。 | | | 幼稚園・保育園との連携を強め、実施園で検証の結果を もとに手法などを再検討し、全園に拡大してい くことが課題である。 | | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費(千円) | 0 | 20 | 20 | | | | | | | 0 | |

政策7 芸術文化活動の振興

施策19 個性豊かな地域文化の振興

施策20 市民等との連携による芸術文化活動の展開

【施策19 個性豊かな地域文化の振興】

- 1 芸術文化創造プランを策定し(H23策定済)、芸術文化の創造を担う人材の育成と活動の場の創出を進めます。
- 2 優れた芸術文化活動に対する顕彰を行うとともに、市民が主体的に取り組む芸術文化活動を積極的に支援します。
- 3 ワークショップやセミナーなど、市民が芸術文化を気軽に体験できる機会を提供します。
- 4 芸術文化活動に主体的に取り組んでいる市民団体やサークルを支援します。
- 5 芸術文化ホールの計画的な改修と整備を進め、利便性の向上を図ります。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | | | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|---------------|--|----------------------------|----------------------------|----------------------------|---|-----|------|---|--------------|-------------|------------|--------------|---|
| | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |
| 7-19-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 |
| 文化賞等表彰 事業 | 優秀な文化活動の顕彰を通し、市民の芸術文化活動に対する意欲の向上を高めるとともに、心豊かな生活の一助になるため、11月3日の文化の日に、優秀な文化活動を行う市民(成人・青少年)や団体の顕彰を行う。 | 文化賞等表彰式の開催 (予算執行はスポーツ賞) | 文化賞等表彰式の開催 (予算執行はスポーツ賞) | 文化賞等表彰式の開催 (予算執行はスポーツ賞) | 芸術文化分野での顕彰事業として、市民の芸術文化活動に対する意欲を高めることから堅実性・継続性が重要となる。 | | | 芸術文化活動を通じた地域づくりや人材育成の視点に優れた文化活動を顕彰する。 生涯にわたり学び、その成果を活かした活動を支援することにつながる。 | | | | | 文化賞等表彰式(11月3日)に開催 文化奨励賞5件、文化貢献賞2件、青少年文化奨励賞2件 |
| | | | | | 成果指標 | | | 文化賞等表彰者数 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |
| | | | | | 「文化の日」に表彰式を実施した。芸術文化分野を概ね網羅し顕彰できている。 | | | 受賞該当者の漏れが無いよう推薦・選考過程の検証が必要である。 | | | | | |
| 市計画<272> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | A | | | A | | | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費(千円) | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | 0 |
| 7-19-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 |
| 市民文化祭奨 励事業 | 市内の芸術文化や市民の芸術文化活動の促進のため、市民の芸術文化活動を発表する機会の提供とその支援を行う。 | 市民総合文化祭及び地区文化祭に助成 | 市民総合文化祭及び地区文化祭に助成 | 市民総合文化祭及び地区文化祭に助成 | 市民の主体的な取り組みを支援する。助成内容の点検を怠らない。 | | | 学んだ成果の発表・活かす場として市民の主体的な取り組みを支援する施策である。 芸術文化を通じた地域づくりや人づくりにつながる。 芸術文化の振興を市民と協働し行う。 | | | | | 総合文化祭参加人数2,952人、地区文化祭参加者人数6,381人 |
| | | | | | 成果指標 | | | 市民総合文化祭参加人数 地区文化祭参加者総数 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |
| | | | | | 本事業により市民が主体的に企画運営する文化祭は市民に定着している。 | | | 実施主体が高齢化しているものの、児童・生徒の発表など学校連携も定着し、入場者数などを維持している。 | | | | | |
| 市計画<274> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | A | | | A | | | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費(千円) | 650 | 650 | 650 | | | | | | | | | 650 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | | | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|--|--|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 7-19-003 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|----------------|--|----------------------|----------------------|----------------------|--|-----|------|--|--|-----------|--|--|-----------------------------------|--|--|
| 文化団体活動 支援事業 | 市内の芸術文化や市民の芸術文化活動の発展のため、芸術文化活動を行う各種団体に各団体の芸術文化事業への支援を行う。 | 北広島市文化連盟及び北広島音楽協会に助成 | 北広島市文化連盟及び北広島音楽協会に助成 | 北広島市文化連盟及び北広島音楽協会に助成 | 芸術文化活動がより活発化するよう主体的な団体活動を支援する。 | | | 生涯学習の視点から、市民の主体的な芸術文化活動団体の支援は重要な施策である。団体支援を通し芸術文化活動による地域づくりや人材の育成につなげる。各種団体との協働により芸術文化の振興を目指す。 | | | | | 文化連盟加盟団体数50団体、音楽協会会員数199名(準会員30名) | | |
| | | | | | 成果指標 | | | 支援団体数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | A | | |
| | | | | | 芸術祭等への参加や、演奏会等の自主事業、技術向上の研修会など、団体間の連携を図りながら活動している。 | | | 文化連盟・音楽協会の加盟団体が団体個々の活動の成果発表の場として演奏会の開催や芸術祭への参加を自主的に実施、生涯学習活動の一環となっている。 | | | | | 継続 | | |
| 市計画<273> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | | | |
| 文化課 | 事業費(千円) | 640 | 640 | 640 | | | | | | | | | | | |

| 7-19-004 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 備える | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|--------------|---|---|----------------------|-----------|---|-----|------|---|--|-----------|--|--|--|--|--|
| 文化施設修繕 事業 | 文化施設の安全性や利便性などの機能維持を図るため、耐用年数などを考慮しながら、保守点検等で不具合が確認された設備や箇所について計画的な修繕を行う。 | 電波障害設備撤去 (芸術文化ホール設備修繕事業を分割) 温水ボイラー修繕を追加補正 | 監視カメラ借上げ 防水シート等修繕 | 閲覧椅子等張替修繕 | 建物本体及び設備の将来の大規模改修を視野に入れ、長期的な改修プランに基づく計画的な修繕事業を実施する。 | | | 設備等の延命化を図るための効果的な部品交換や修繕の実施。 省エネの取り組みの推進。 | | | | | エントランス・ホワイエのシーリング修繕、エントランス高天井ダウンライト修繕、芸術文化ホール舞台音響設備修繕 照明灯LED化(11,454千円)は環境施策のため未掲 | | |
| | | | | | 成果指標 | | | 進捗率 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | B | | |
| | | | | | 施設のオープンから15年が経過し、修繕等の必要箇所が増えている。 | | | 部品交換等予防措置よりも、不具合のある設備に対し、対処的な修繕を行っている。平成25年度以降、長期的な改修プラン策定の検討を行う。 | | | | | 継続 | | |
| 市計画<278> | 継続 | 分割 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | | | |
| 文化課 | 事業費(千円) | 4,017 | 23,000 | 5,072 | | | | | | | | | | | |

| 7-19-005 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 備える | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|-------------------|--|---------------------------------------|-----------------|--|---|-----|------|--|--|--|--|--|----------|--|--|
| 芸術文化ホール設備修繕 事業 | 芸術文化ホール設備の安全性や利便性などの機能維持を図るため、各機器等の耐用年数などを考慮しながら、保守点検等で不具合が確認された設備について計画的な修繕を行う。 | 舞台照明設備修繕 (文化施設修繕事業から分割、営繕基金対応) | スタインウェイピアノ弦張替修繕 | 舞台吊物ワイヤー修繕 オペラカーテン張替等 ビデオプロジェクター購入 | 建物本体及び設備の将来の大規模改修を視野に入れ、長期的な改修プランに基づく計画的な修繕事業を実施する。 | | | 設備等の延命化を図るための効果的な部品交換や修繕の実施。 省エネの取り組みの推進。 | | | | | | | |
| | | | | | 成果指標 | | | 進捗率 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | | | |
| 市計画<341> | 分割 | 分割 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | | | |
| 文化課 | 事業費(千円) | 2,770 | 3,118 | 29,163 | | | | | | | | | | | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 7-19-101 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------------------|--------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|------------------------------|-----|------|-------------|--|--|--|----------------------------|
| 文化施設維持管理 (文化施設維持管理経費) | 芸術文化ホール・図書館の施設維持管理 | 設備管理業務委託 清掃委託 警備委託ほか | 設備管理業務委託 清掃委託 警備委託ほか | 設備管理業務委託 清掃委託 警備委託ほか | 点検を怠らず、計画的な管理運営を行う。 | | | | | | | 設備管理業務委託 清掃委託 警備委託ほか |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 - | | | | | | 継続 | |
| 文化課 | 事業費(千円) | 57,282 | 57,282 | 57,282 | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 A | | | 55,031 | |
| | | | | | 受託者等との連携により計画的な管理運営を行う事が出来た。 | | | | | | 受託者等や団体との協働により、計画的な管理運営を行う事が出来た。次年度以降、も引き続き受託者と連携を行う準備を行う。 | |

| 7-19-102 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|----------------------------|----------------|--|--|--|------------------------------|-----|------|-------------|--|--|----------------------------------|--|
| 芸術文化ホール管理 (芸術文化ホール管理経費) | 芸術文化ホールの設備維持管理 | 舞台設備運営管理委託 窓口業務・設備備品 保守点検委託 借上車経費 | 舞台設備運営管理委託 窓口業務・設備備品 保守点検委託 借上車経費 | 舞台設備運営管理委託 窓口業務・設備備品 保守点検委託 借上車経費 | 点検を怠らず、計画的な管理運営を行う。 | | | | | | | 舞台設備運営管理委託 窓口業務・設備備品 保守点検委託 借上車経費 |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 - | | | | | | 継続 | |
| 文化課 | 事業費(千円) | 38,081 | 38,081 | 38,081 | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 A | | | 34,834 | |
| | | | | | 受託者等との連携により計画的な管理運営を行う事が出来た。 | | | | | | 受託者等や団体との協働により、計画的な管理運営を行う事が出来た。 | |

| 7-19-103 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|-----------------------------|--------------------------------------|-----------------------------|------------------|------------------|------------------------------------|-----|------|-------------|--|--|--|--------------------------------------|
| 北広島市芸術文化振興審議会 (芸術文化振興経費) | 芸術文化の振興について教育委員会からの諮問に応じ調査審議する。委員10名 | 北広島市芸術文化振興審議会の開催 委員構成を変更 | 北広島市芸術文化振興審議会の開催 | 北広島市芸術文化振興審議会の開催 | 芸術文化の振興に対する市民意見の反映に必要。運営等の点検を怠らない。 | | | | | | | 審議会開催回数2回 (9月に文化賞等受賞者選考を諮問し答申を得た) |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 開催回数 | | | | | | 継続 | |
| 文化課 | 事業費(千円) | 125 | 125 | 125 | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 A | | | 102 | |
| | | | | | 文化賞等受賞者選考において、有意義な審議が成されている。 | | | | | | 今後、芸術文化振興プランの進行管理、文化賞等表彰選考などに向け、委員構成や開催時期等の見直しが必要。 | |

政策8 健康づくりとスポーツ活動の推進

施策21 健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進

施策22 競技スポーツの振興

施策23 スポーツ施設の整備と運営

【施策21 健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進】

- 1 市民だれもが健康で生きがいのある生活がおくれるよう、市民との協働による各種スポーツ教室やスポーツ活動の推進、健康・体力づくり機会の拡充を図ります。
- 2 市民の自主的な参加と健康・体力づくり機会を拡充するため、各種スポーツイベントの開催をはじめとするスポーツ事業の推進を図ります。
- 3 スポーツ推進委員や地区生涯学習振興会と連携し、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | | | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 | |
|--------------|--|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---|-----|-----------|--|--------------|-------------|------------|--------------|-----------------------------------|----------|
| | | | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | | |
| 8-21-001 | スポーツ団体活動連携事業 市民を対象としたスポーツの普及振興事業を積極的に実施している団体のスポーツ大会等事業費の一部を助成する。 | 平成25年度 H25事業廃止 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 転換する | | | | | | | 平成24年度実績 |
| | | | | | 全市的な視点で活動するスポーツ団体の支援を今後とも継続。 | | | スポーツ団体が自主的に取り組む活動を支援することは必要。 | | | | | 「赤い羽根ティールボール北の甲子園大会」実行委員会への助成 | |
| | | | | | 成果指標 大会等参加者人数又は団体数 | | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | A | | | | | | |
| 市計画<283> | 廃止 | 廃止 | | | 当初の目的を達成したため、25年度からは助成をしない。 | | | 「赤い羽根ティールボール北の甲子園大会」実行委員会が自主的に取り組む大会を支援した。 | | | | | 継続 | |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | | | | | | | | | | | | 300 | |
| 8-21-002 | きたひろしま30kmロードレース連携事業 【事業名変更】 参加者の交流や本市の魅力の発信による、まちの活性化と市民の健康増進を図るため、30kmロードレースを開催する。 | 平成25年度 きたひろしま30kmロードレース実行委員会に助成 | 平成26年度 きたひろしま30kmロードレース実行委員会に助成 | 平成27年度 きたひろしま30kmロードレース実行委員会に助成 | 創る | 広げる | 点検する | | | | | | | 平成24年度実績 |
| | | | | | 市の一大スポーツイベントとして、多くの関係団体との連携による事業運営。 | | | 本市の魅力を全道、全国にPRする事業として、また市民の健康づくり、生きがいづくりの機会を提供する事業として、関係各団体と連携した事業運営が必要。 | | | | | きたひろしま30kmロードレース実行委員会へ助成(次年度開催費用) | |
| | | | | | 成果指標 参加者数 | | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | A | | | | | | |
| 市計画<286> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | ニーズを捉え大会内容のリニューアルを、25年度からの開催に向けて検討し、準備を進めた。 | | | これまでのエルフィンロードーフマラソンで得たノウハウをいかしながら、更に活気あるイベントとなるよう、団体関係者による運営委員会での協議が進められた。 | | | | | 継続 | |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 300 | 300 | 300 | | | | | | | | | 205 | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 8-21-003 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 改善する | | | | | 平成24年度実績 |
|-------------------|---|--|--|---|---------------------------------------|------|------|---|--|---|---|-----------|
| 市民スポーツ活動推進事業 | 子どもから高齢者、障がい者までさまざまな市民を対象に健康保持増進と生きがいや潤いのある生活を助長することを目的にスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供する。 | 各種障がい者スポーツ大会の支援、スーパードッジボール大会、いちにのジャンプ大会、30 ⁺ 歩ける会など各種スポーツ・レクリエーションイベントの開催、近隣市交流事業の開催（家庭婦人スポーツ交流大会）、「赤い羽根ティールボール北の甲子園大会」での市のPR活動 | 各種障がい者スポーツ大会の支援、スーパードッジボール大会、いちにのジャンプ大会、30 ⁺ 歩ける会など各種スポーツ・レクリエーションイベントの開催、近隣市交流事業の開催、近隣市交流事業の開催（パークゴルフ大会） | 各種障がい者スポーツ大会の支援、スーパードッジボール大会、いちにのジャンプ大会、30 ⁺ 歩ける会など各種スポーツ・レクリエーションイベントの開催、近隣市交流事業の開催（パークゴルフ大会） | 市民ニーズを把握し、事業及び事業内容の改善に努める。 | | | 各世代、障がい者のニーズに対応したスポーツ・レクリエーション事業を実施し、健康づくり、生きがいづくりを助長する。 地区生涯学習振興会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員等との協働を進める。 | | | 各種障がい者スポーツ大会の支援、スーパードッジボール大会、いちにのジャンプ大会、30 ⁺ 歩ける会、近隣市交流事業の開催（パークゴルフ大会）など各種スポーツ・レクリエーションイベントの開催 | |
| 市計画<288> 社会教育課 | 継続 事業費(千円) | 継続 532 | 継続 257 | 継続 300 | 成果指標 | 参加者数 | | 平成24年度の評価 | | A | A | 継続 219 |
| | | | | | 参加者にとって充実したイベントとするため、より良い運営方法を検討していく。 | | | 各種イベントで、例年どおりの参加があり、市民の健康づくりに寄与できた。今後も多くの市民に参加してもらうよう、周知方法等を検討する。事業実施にあたっては、スポーツ推進委員、関係団体等との連携を図る事ができた。 | | | | |

| 8-21-101 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|------------------------|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--|----------------|------|--|--|---|--------------------------|-----------|
| スポーツ推進委員 (保健体育事務経費) | 住民のスポーツ振興のため実技指導や各種大会の企画運営を行う 全道管内協議会への参加 | 推進委員15名 報酬 研修会への参加 | 推進委員15名 報酬 研修会への参加 | 推進委員15名 報酬 研修会への参加 | 市内各地域のスポーツ・レクリエーションの振興の一端を担っている。 | | | 本市の生涯スポーツ振興の推進者、コーディネーターとしての役割が期待される。 | | | 大会企画運営 全道・管内協議会 参加 | |
| 経常経費 社会教育課 | 継続 事業費(千円) | 継続 533 | 継続 533 | 継続 533 | 成果指標 | スポーツ推進委員の参加事業数 | | 平成24年度の評価 | | A | A | 継続 524 |
| | | | | | 委員が主体となって実施している事業のほか、各地域・振興会と連携した活動が多くなっている。 | | | 委員が主体となって各事業に取り組んでおり、新たな事業展開に向けた研修に取り組むなど前向きな活動は十分評価できた。 | | | | |

【施策22 競技スポーツの振興】

- 1 ジュニアスポーツ活動の振興を図るため、北広島少年スポーツアカデミーにおける選手の強化育成や底辺拡大、指導者の養成に取り組むとともに、中学校部活動への支援などを行います。
- 2 国際大会や全国大会等への出場を支援するほか、スポーツ大会において優秀な成績をおさめた市民を表彰し、市民の自発的なスポーツ活動の振興と奨励を図ります。
- 3 市体育協会やスポーツ少年団本部に対して支援を行い団体の組織強化と育成を図ることで、競技者のスポーツ活動の振興を図ります。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 8-22-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 改善する | | | | | 平成24年度実績 |
|-------------|--|---|---|---|--|------|------|--|---|--|--|---|
| スポーツアカデミー事業 | 全国、国際レベルの選手育成及び青少年の健全育成を図るため、ジュニアスポーツ選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業を実施する。 | 指導者及びジュニアスポーツリーダー養成、種目別講習会の実施、キッズスポーツ塾、ジュニアスポーツ塾の開催 | 指導者及びジュニアスポーツリーダー養成、種目別講習会の実施、キッズスポーツ塾、ジュニアスポーツ塾の開催 | 指導者及びジュニアスポーツリーダー養成、種目別講習会の実施、キッズスポーツ塾、ジュニアスポーツ塾の開催 | 子どもの体力の強化、社会性を育む人づくり事業として、参加状況やニーズの変化に留意しながら、事業内容の改善を進める。 | | | 生涯に渡ってスポーツに親しむ市民を増やすため、子どものときから、スポーツに親しむ機会を拡充することが必要。 体育協会、スポーツ少年団本部、地区生涯学習振興会、総合型地域スポーツクラブ等との連携。 | | | | 指導者及びジュニアスポーツリーダー養成、種目別講習会の実施、キッズスポーツ塾、ジュニアスポーツ塾の開催 |
| | | | | | 成果指標 | 参加者数 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | 平成24年度の評価 | A | | | |
| 市計画<290> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 各種事業については、より実情に即した内容とするべく、学校や関係団体の意向を踏まえながら実施した。 | | | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 1,088 | 1,109 | 1,109 | 特に底辺拡大事業について地区別教室を拡大して実施し、参加しやすい事業展開に努めた。各種事業の実施にあたっては、総合型地域スポーツクラブ、地区生涯学習振興会、体育協会、各競技連盟、学校、大学などと十分連携をとりながら実施した。 | | | | | | | 967 |

| 8-22-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|------------------|---|-------------------------|-------------------------|--------------------------|---|--------|------|------------------------|---|--|--|-------------------------|
| 全国中学生空手道選抜大会連携事業 | 本市を全国にPRするとともに、空手道を通じ青少年の健全育成を図るため、全国中学生空手道選抜大会を開催する。 | 第8回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会の開催 | 第9回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会の開催 | 第10回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会の開催 | 市内における空手道競技の普及。 大会のスムーズな運営のための点検を怠らない。 | | | 本市を全国にPRする事業としての視点は重要。 | | | | 第7回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会の開催 |
| | | | | | 成果指標 | 大会来場者数 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | 平成24年度の評価 | A | | | |
| 市計画<291> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 未経験者の小学生・成人を対象とした教室を開催し競技の普及を図った。また大会については、スムーズな運営に努めた。 | | | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 4,500 | 4,500 | 4,500 | 大会を通じ本市を全国にPRする取り組みを行った。 | | | | | | | 4,500 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 8-22-006 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 改善する | | | | | 平成24年度実績 | |
|----------------|---|-------------|-------------|-------------|---|-----|------|---|--|-----------|--|----------|-------------|
| 体育協会活動 支援事業 | 市民の積極的なスポーツ活動と振興を図るため、NPO法人北広島市体育協会の運営等を支援する。 | 北広島市体育協会に助成 | 北広島市体育協会に助成 | 北広島市体育協会に助成 | 本市のスポーツ振興を担う中核的組織であり、当協会活動の発展、活性化への支援を継続。 | | | 競技者の育成、市内のスポーツ競技の普及に取り組み団体を支援することにより、市民の健康づくり、生きがいづくりを推進する。 体育協会への本市事業の一部移管の検討及び協働の推進。 | | | | | 北広島市体育協会に助成 |
| | | | | | 成果指標 | | | 加盟団体数、会員数 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | A |
| 市計画<284> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 協会への支援を行うことにより、各スポーツ団体との連携強化が図れ、スポーツの振興に寄与している。 | | | 協会が主催する各種スポーツ教室やイベントについては、加盟団体との協働で実施されており、協会に対する支援の成果と言える。 | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 3,118 | 3,118 | 3,118 | | | | | | | | | 3,118 |

| 8-22-007 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 改善する | | | | | 平成24年度実績 | |
|-----------------|--|--------------|--------------|--------------|--|-----|------|--|--|-----------|--|----------|--------------|
| スポーツ少年 団育成事業 | 青少年の健全育成やスポーツ少年団の組織強化と自主的な活動の推進のため、スポーツ少年団を支援する。 | スポーツ少年団本部に助成 | スポーツ少年団本部に助成 | スポーツ少年団本部に助成 | 子どものスポーツ振興を担う中核的組織であり、当団体活性化のための支援を継続。 | | | 子どもの健康・体力づくり、健全育成を目的に活動している少年団の支援は重要。 地域における指導者の養成や確保が必要。スポーツアカデミー事業との連携推進。 | | | | | スポーツ少年団本部に助成 |
| | | | | | 成果指標 | | | 加盟団体数、加盟者数、指導者数 | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | A |
| 市計画<285> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 組織基盤は脆弱であり、支援することは重要である。 | | | 支援することは、子どものスポーツ振興を図るうえでも重要であり、少子化が進む中で加盟者数が現状維持できているのは、支援の成果と言える。 | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 453 | 453 | 453 | | | | | | | | | 453 |

【施策23 スポーツ施設の整備と運営】

- 1 市民が安心して利用しやすいスポーツ・レクリエーション環境を整えるため、スポーツ施設の計画的な整備と改修を進めます。
- 2 日常的なスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、学校開放事業をはじめとしたスポーツ環境の向上を図ります。
- 3 運動広場の整備を進め、市民が快適にスポーツ・レクリエーション活動を行える場づくりを図ります。

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 8-23-001 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 備える | 整える | 改善する | | | | | | 平成24年度実績 |
|-----------------|--|--------|----------------|---------|--|-----|------|------------------------------|--|--|--|--|------------------------------|
| 西の里ファミリー体育館改修事業 | 建築後26年以上経過しており、老朽化が著しいことから屋根、壁面の窓枠及び暖房施設等の更新を行う。 | 実施設計 | 改修工事 工事施工監理 | H26事業終了 | 利用者の意見を反映し、利用しやすい施設とするため、改善を進める。 | | | スポーツを振興するうえで、スポーツ施設環境の充実が必要。 | | | | | 改修調査委託 リニューアル検討 委員会の開催 |
| | | | | | 成果指標 進捗率 | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 A | | | 平成24年度の評価 | | | | | A |
| | | | | | 地域の町内会・少年団等によるリニューアル検討委員会を設置し、改修に向けて会議を開催し、意見を募った。 | | | 改修調査委託を行った。 | | | | | |
| 市計画<294> | 継続 | 継続 | 継続 | 終了 | | | | | | | | | 拡大 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 3,615 | 97,226 | | | | | | | | | | 4,515 |

| 8-23-002 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 備える | 整える | 改善する | | | | | | 平成24年度実績 |
|----------------|--|--------|--------|--------|----------------------------------|-----|------|------------------------------|--|--|--|--|----------|
| 大曲ファミリー体育館改修事業 | 建築後28年以上経過しており、老朽化が著しいことから屋根、壁面の窓枠及び暖房施設等の更新を行う。 | | | 調査委託 | 利用者の意見を反映し、利用しやすい施設とするため、改善を進める。 | | | スポーツを振興するうえで、スポーツ施設環境の充実が必要。 | | | | | / |
| | | | | | 成果指標 進捗率 | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 市計画<206> | 新規 | | 延伸 | 新規 | | | | | | | | | |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | | 0 | 4,500 | | | | | | | | | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 8-23-003 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 備える | 整える | 改善する | | | | | 平成24年度実績 | |
|--------------|--|---------|--------|--------|----------------------------------|-----|------|--|--|---|-----------|--|----|
| 総合体育館大規模改修事業 | 建築後25年以上経過しており、屋上防水、暖房・給湯ボイラー、各種配管、放送設備等の経年劣化が著しいことから、施設の大規模改修を行う。 | H24事業終了 | | | 利用者の意見を反映し、利用しやすい施設とするため、改善を進める。 | | | | | | | 工事監理委託 建築主体工事 機械設備工事 電気設備工事 大型備品の購入 リニューアルオープン記念事業の開催 | |
| 市計画<296> | 終了 | 終了 | | | 成果指標 進捗率 | | | 平成24年度の評価 | | A | 平成24年度の評価 | A | 拡大 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | | | | 大規模改修工事が完了した。 | | | 大規模改修工事が完了し、利用者からも好評であり、スポーツを振興するうえで、充実した施設環境となった。 | | | | 323,052 | |

| 8-23-004 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 改善する | | | | | 平成24年度実績 | |
|---------------|--------------------------------|-----------------------|--------------|--------------|---|-----|------|---|--|---|-----------|--------------|----|
| 学校施設(体育館)開放事業 | 市民の身近なスポーツ活動の場として、学校の体育館を開放する。 | 市内小中学校12校で実施(西部中後期試行) | 市内小中学校12校で実施 | 市内小中学校12校で実施 | 学校の統合に合わせて、有料化の検討を行う。 | | | | | | | 市内小中学校12校で実施 | |
| 市計画<293> | 継続 | 継続 | | 継続 | 成果指標 利用団体数、利用者数 | | | 平成24年度の評価 | | A | 平成24年度の評価 | A | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 4,812 | 4,778 | 4,778 | 有料化については、学校施設跡利用供用開始と同時期に開始できるように25年度検討をする。 | | | 前期はすべての団体が希望通り利用できた。後期についても対象外団体4団体を除くすべての団体が利用できた。 | | | | 4,007 | |

| 8-23-005 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 広げる | 改善する | | | | | 平成24年度実績 | |
|----------|---|--------|-----------|---------|---|-----|------|-----------|--|---|-----------|----------|----|
| 運動広場整備事業 | 市民のスポーツ・レクリエーションや集い・交流・健康づくりの場として運動広場を整備する。 | | 施設整備調査の実施 | 施設整備 | 総合運動公園計画の基盤整備的 事業として計画。整備に向け、 課題の整理を行う。 | | | | | | | 該当なし | |
| 市計画<322> | 継続 | 見直し | 継続 | 継続 | 成果指標 進捗率 | | | 平成24年度の評価 | | - | 平成24年度の評価 | - | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | | 2,820 | 100,000 | 該当なし | | | 該当なし | | | | 0 | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|---|-------------------------|-----------------|-----------------|---|-------------|------|---|--|--|---|----------|-------------------------|
| 8-23-101 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 整える | 改善する | | | | | 平成24年度実績 | |
| 体育施設管理 事業 (体育施設管理 経費) | 総合体育館、緑葉公園体育施設、住民プール、地区体育館、自然の森キャンプ場の管理を行う。 | 指定管理者による施設の維持管理 施設修繕 | 指定管理者による施設の維持管理 | 指定管理者による施設の維持管理 | 老朽化している施設が多いことから、点検を怠らない。計画的な修繕を実施していく。 | | | スポーツを振興するうえで、スポーツ施設環境の充実が必要。 利用者の意見を反映した、効率的な施設運営が求められている。 | | | | | 指定管理者による施設の維持管理 施設修繕 |
| | | | | | 成果指標 | 施設利用者数、苦情件数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | 平成24年度の評価 | | | A | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 適正な管理が実施できた。突発的な修繕については、迅速に対応した。 | | | 指定管理者による効率的な施設運営に努めた。 | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 91,573 | 91,573 | 91,573 | | | | | | | | 88,458 | |

【政策1～8を支える経常経費】

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

教育委員会経費

| 9-00-101 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|---------------------------|---|---|----------------------------|----------------------------|-------------------------------|------|------|--|--------------------|---|-----------|---|----------|--|-------|
| 教育委員に関する経費 (教育委員会運営経費) | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき設置 教育委員の報酬など 教育委員会会議の開催経費 教育長交際費 全道都市教委連総会負担金 | 教育委員会会議 20回開催 全道都市教委連総会 (富良野市) | 教育委員会会議 20回開催 全道都市総会 | 教育委員会会議 20回開催 全道都市総会 | 市の教育施策を継続し、着実に進める。 | | | | 教育委員会、委員研修会をを開催する。 | | | | | 教育委員会会議 17回開催 全道都市教委連総会 (根室市) | |
| | | | | | 成果指標 | 開催回数 | | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 研修を積極的に行うなど、教育施策の推進に向け対応している。 | | | | | 北広島の教育に対し幅広く対応している。教育委員会を活用した、研修会を計画的に実施した。 | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 3,107 | 3,107 | 3,107 | | | | | | | | | | | 3,036 |

教育委員会事務局運営経費

| 9-00-102 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|--------------------------------|-----------|---|---|---|----------------------------------|-----|------|--|---|--|-----------|---|----------|---|--------|
| 学校業務主事に関する経費 (教育委員会事務局運営経費) | 学校業務主事の任用 | 学校業務主事 18名任用 人件費・被服費用 危険物保安講習受講手数料 | 学校業務主事 18名任用 人件費・被服費用 危険物保安講習受講手数料 | 学校業務主事 18名任用 人件費・被服費用 危険物保安講習受講手数料 | 市の教育施策を継続し、着実に進める。 | | | | 学校の教育環境をいち早く把握し、対応する。修繕等学校管理に関するの経費を節減する。 | | | | | 学校業務主事 21名任用 人件費・被服費用 危険物保安講習受講手数料 | |
| | | | | | 成果指標 | | | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 学校環境の保全のため、草刈り、除雪、軽微な修繕を積極的に行った。 | | | | | 児童生徒の安全確保、学校環境の保全に努めた。また、軽微な修繕、教材の作製などは学校経費節減となっている。 | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 40,745 | 40,745 | 40,745 | | | | | | | | | | | 46,236 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 9-00-103 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|-----------------------------|---|---|---|---|--------------------|-----|------|---------------------|---|-------------------|-------|---|
| 教育委員会運営経費 (教育委員会事務局運営経費) | 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金 | 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金 全国教育長協議会(東京)1回 | 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金 | 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金 | 市の教育施策を継続し、着実に進める。 | | | | | 教育委員会事務局を円滑に運営する。 | | 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金 全国教育長協議会(東京)2回 |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 | | | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | A | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 5,566 | 5,566 | 5,566 | 教育施策を着実に推進している。 | | | 教育委員会の運営を円滑に推進している。 | | | 5,150 | |

| 9-00-104 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|-----------------------------|---|-------------------|-------------------|-------------------|---|-----|------|--|---|-----------------------------------|---|--------------------------|
| 教職員永年勤続表彰 (教育委員会事務局運営経費) | 北海道教育功績者表彰規則により永年勤続表彰を受けた市内の小中学校教職員に対して伝達を行う。 | 伝達式(教職員永年勤続表彰)の実施 | 伝達式(教職員永年勤続表彰)の実施 | 伝達式(教職員永年勤続表彰)の実施 | 北海道教育委員会に代わり。永年勤務した教職員に対して、業績を称える式典を実施。 | | | | | 永年勤務した教職員に対して、その業績を称え、今後の活躍を期待する。 | | 伝達式(教職員永年勤続表彰者15名)を3月に実施 |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 | | | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | A | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 3 | 3 | 3 | 永年勤続表彰伝達式を実施。 | | | 永年勤務した教職員に対して、道教委からの賞状を伝達し、これまでの業績を称えるとともに、今後のさらなる活躍を期待する伝達式を実施予定。 | | | 3 | |

教育振興経費

| 9-00-105 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|---------------------------|------------------------------------|--------------|--------------|--------------|-------------------------------------|-----|------|------------------------------|---|--|----|--------------------|
| 「きたひろしまの教育」作成 (教育振興経費) | 教育全般の状況を記した「きたひろしまの教育」を編集・製本・発行する。 | 発行に係る用紙代・製本代 | 発行に係る用紙代・製本代 | 発行に係る用紙代・製本代 | 市の教育理念の達成と、教育基本計画推進のため、毎年のデータを蓄積する。 | | | | | 本誌に掲載するデータが教育の各分野で利用されるよう、教育活動全般にわたる視点をもって編集・発行する。 | | 300冊6月発行に係る用紙代・製本代 |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 | | | 平成24年度の評価 | A | 平成24年度の評価 | A | 継続 |
| 教育施策推進課 | 事業費(千円) | 76 | 76 | 76 | 各種データ等を更新し、学校統合事業の内容を掲載して作成した。 | | | 本市の教育に係る広範な情報を掲載し、各分野で活用された。 | | | 75 | |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 9-00-106 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 創る | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|-------------------------------------|---|------------------|-----------|------------------|---|-----|------|--|--|-------------|--|---|
| 北広島市教育 施策審議会 (教育振興経 費) | 学識者2名、学校関係者2 名、社会教育関係者2名、 公募1名で構成し、教育施 策に関する審議及び教育委 員会の事務事業に関する点 検評価を行う。 平成23年11月設置 | 年間7回会議を開催 改選年 | 年間6回会議を開催 | 年間7回会議を開催 改選年 | 教育基本計画を着実に推進す るため、教育委員会の事務 事業を客観的に点検する。 | | | 教育委員会の事務事業に 関する点検評価は、教育基 本計画の進行管理と見直し、 及び教育政策の着実な推 進に必要であり、教育活動 全般にわたる視点が必要 である。 | | | | 5回審議会を開催 点検評価報告書へ の意見 教育推進計画 (H25~27)検討 |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 会議開催回数 | | | 平成24年度の評価 A | | 平成24年度の評価 A | | 継続 |
| 教育施策推進課 | 事業費(千円) | 354 | 308 | 354 | 平成23年度点検評価に 対する意見等を得た。教育 推進計画(平成25~27年 度)の策定を諮問し、検討 した。 | | | 24年度は23年度点検 評価及び教育推進計画(平 成25~27年度)に関 する審議を中心に活動 した。 | | | | 230 |

| 9-00-107 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|--|---|---------------------------------|--|--|--|-----|------|--|--|-------------|--|-----------------|
| 第一地区教科 用図書採択教 育委員会協 議会負担金 (教育振興経 費) | 小中学校で使用する教科用 図書を採択するため、第一 地区教科用図書採択教育委 員会協議会へ参加する。 | 第一地区教科用図書 採択教育委員会協 議会への参加 | 第一地区教科用図書 採択教育委員会協 議会への参加 採択調査負担金 | 第一地区教科用図書 採択教育委員会協 議会への参加 採択調査負担金 | 第一地区教科用図書採 択教育委員会協 議会を通して教科書用 図書を選定する必要がある。 | | | 小中学校で使用する教科用 図書を採択するには、 第一地区教科用図書採 択教育委員会協 議会へ参加する 必要がある。 | | | | 7月開催の協議会 へ参加 |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 協議会への参加状況 | | | 平成24年度の評価 A | | 平成24年度の評価 A | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 0 | 123 | 123 | 今年度は教科書改訂の年度で ないことから負担金が生じ なかった。 | | | 特別支援学級に使用する 一般図書の選定のための 協議会が開催され、参加 した。 | | | | 0 |

教員住宅管理経費

| 9-00-108 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|------------------------------|---------------------------|---|---|---|-----------------------------------|-----|------|---|--|-------------|--|---|
| 教員住宅管理 (教員住宅管 理経費) | 校長・教頭管理者住宅、教 員住宅に関する経費 | 校長・教頭管理者住 宅電話料 教員住宅修繕料 大曲東小管理者住宅 借上 | 校長・教頭管理者住 宅電話料 教員住宅修繕料 大曲東小管理者住宅 借上 | 校長・教頭管理者住 宅電話料 教員住宅修繕料 大曲東小管理者住宅 借上 | 市の教育施策を継続し、着 実に進める。 | | | 校長、教頭に対し、学校 の管理を迅速に行うた め、主に学校敷地内に住 宅を提供する。また、一 般教職員等に対し住宅 を提供する。 | | | | 校長・教頭管理者 住宅電話料 教員住宅修繕料 大曲東小管理者住 宅借上 |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 成果指標 入居状況 | | | 平成24年度の評価 A | | 平成24年度の評価 A | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 4,377 | 4,377 | 4,377 | 管理者住宅、教員住宅の 維持管理、修繕を行っ ている。 | | | 老朽化に伴う修繕、安全 の確保に努めている。 | | | | 4,028 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

小学校管理経費

| 9-00-109 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|----------------------|---|---------|---------|---------|-------------------------------------|-----|------|------------------------------|--|-----------|--|--|----------|---------|--------|
| 小学校運営経費 (小学校管理経費) | 事務補助員の任用 業務主事の旅費 運営用消耗品 印刷製本費 通信費 | 小学校運営経費 | 小学校運営経費 | 小学校運営経費 | 学校教育環境の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。 | | | | | | | | | 小学校運営経費 | |
| | | | | | 成果指標 | | | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | A | | |
| | | | | | 経費の節減に努めるよう、各校に連携し、効果を上げている。 | | | 学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図っている。 | | | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 21,549 | 21,549 | 21,549 | | | | | | | | | | | 25,117 |

| 9-00-110 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|------------------------------------|---|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--|-----|------|--|--|-----------|--|--|----------|---------------------------------|----|
| 小学校管理経費 (学校教育課関係分) (小学校管理経費) | 全学校共通で使用する印刷物の作成及び入学通知書の郵便料 H25から水質検査は学校管理費で実施 | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付 | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付 | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付 | 指導要録等、全学校で共通して使用する印刷物の在庫管理及び法令に基づく水質検査の実施。 | | | | | | | | | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付、水質検査の実施 | |
| | | | | | 成果指標 | | | 印刷物の発注及び水質検査実施状況 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | A | | |
| | | | | | 指導要録等の全学校で共通して使用する印刷物の作成及び法令に基づく水質検査を実施した。 | | | 共通して使用する印刷物を一括発注することによる経費削減、また、適切な水質検査による安全管理が必要である。 | | | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 59 | 59 | 59 | | | | | | | | | | | 59 |

中学校管理経費

| 9-00-111 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | | 平成24年度実績 | | |
|----------------------|---|---------|---------|---------|-------------------------------------|-----|------|------------------------------|--|-----------|--|--|----------|---------|--------|
| 中学校運営経費 (中学校管理経費) | 事務補助員の任用 業務主事の旅費 運営用消耗品 印刷製本費 通信費 | 中学校運営経費 | 中学校運営経費 | 中学校運営経費 | 学校教育環境の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。 | | | | | | | | | 中学校運営経費 | |
| | | | | | 成果指標 | | | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | | | A | | 平成24年度の評価 | | | A | | |
| | | | | | 経費の節減に努めるよう、各校に連携し、効果を上げている。 | | | 学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図っている。 | | | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費(千円) | 15,801 | 15,801 | 15,801 | | | | | | | | | | | 18,796 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 9-00-112 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|--|---|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--|------------------|------|--|-----------|--|--|---------------------------------|
| 中学校管理経費 (学校教育課関係分) (中学校管理経費) | 全学校共通で使用する印刷物の作成及び入学通知書の郵便料 H25から水質検査は学校管理費で実施 | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付 | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付 | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付 | 指導要録等、全学校で共通して使用する印刷物の在庫管理及び法令に基づく水質検査の実施。 | | | | | | | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付、水質検査の実施 |
| | | | | | 成果指標 | 印刷物の発注及び水質検査実施状況 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | 平成24年度の評価 | | | A |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 指導要録等の全学校で共通して使用する印刷物の作成及び法令に基づく水質検査を実施した。 | | | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費(千円) | 67 | 67 | 67 | | | | | | | | 72 |

社会教育経費

| 9-00-113 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|----------------------|--|--|--|--|-----------------------------|-----|------|--|-----------|--|--|--|
| 社会教育事務経費 (社会教育経費) | 社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他 | 社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他 | 社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他 | 社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他 | 社会教育関係団体登録等に係る事務手続きを円滑に進める。 | | | | | | | 社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他 |
| | | | | | 成果指標 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | 平成24年度の評価 | | | A |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 事務手続き等を円滑に進めることができた。 | | | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 126 | 126 | 126 | | | | | | | | 94 |

| 9-00-114 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------------|--|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|---|--------------|------|--|-----------|--|--|--|
| 社会教育委員 (社会教育経費) | 社会教育法に基づき委嘱生涯学習に関する諸計画の立案・助言を行う 全道管内協議会への参加 | 社会教育委員10名の報酬 道社連協研修大会 根室開催 | 社会教育委員11名の報酬 道社連協研修大会 他 | 社会教育委員11名の報酬 道社連協研修大会 他 | 平成23年度より新たな2カ年の任期の開始により、テーマを設け協議を進める。 | | | | | | | 社会教育委員10名の報酬 道社連協研修大会 (登別) 3回会議開催 のべ10名大会等参加 |
| | | | | | 成果指標 | 会議開催数、大会参加者数 | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | 平成24年度の評価 | | | A |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 会議の運営について、具体的な協議内容を提示し、活発な協議が成されるようにする。 | | | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 572 | 572 | 572 | | | | | | | | 320 |

| 事業名 (担当課) | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション | | | 特に必要とする視点 | | | | | 平成24年度実績 |
|--------------|------|------|------------|----|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------|
| | | | 懐く | 励む | 挑む | 生涯学習 環境整備 | 社会貢献 人材育成 | 産学官民 の連携 | 地域の 教育力 | 総合的な 教育施策 | |
| | | | 平成24年度の評価 | | | 平成24年度の評価 | | | | | |

| 9-00-115 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|------------------------|--------------|--------|--------|--------|---------------------------------------|---------|------|---|--|--|-----------|-------------------------------------|-------------|
| 社会教育主事 (社会教育経費) | 社会教育主事の研修等費用 | 普通旅費 | 普通旅費 | 普通旅費 | 社会教育に関する専門職員として研修の機会を確保する。 | | | | | | | 社会教育主事の専門性を業務内容にいかし、充実した事業運営に努めていく。 | 管内社教主事研修会出席 |
| | | | | | 成果指標 | 研修会参加回数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | | 平成24年度の評価 | A | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 専門職員として、研修の機会に積極的に参加し、社会教育の推進に活かしていく。 | | | 研修の成果や先進の取組みの状況などの情報を活用し、社会教育に関する計画策定や施策の充実に努める必要がある。 | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 18 | 18 | 18 | | | | | | | | 14 | |

保健体育事務経費

| 9-00-116 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|-----------------------------|-----------------------------------|---------------|---------------|---------------|----------------------------|-------|------|-------------------|--|--|-----------|------------|---------|
| スポーツ推進審議会 (保健体育事務経費) | スポーツの振興に関する事項について調査・審議し教育委員会に建議する | 審議会委員5名報酬費用弁償 | 審議会委員5名報酬費用弁償 | 審議会委員5名報酬費用弁償 | 本市のスポーツ振興に係る方策等について意見を求める。 | | | | | | | 審議会の意見の反映。 | 審議会2回開催 |
| | | | | | 成果指標 | 会議開催数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | | 平成24年度の評価 | A | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | スポーツ賞受賞候補者の諮問を行い答申を得た。 | | | 答申のとおり受賞者の決定となった。 | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 128 | 128 | 128 | | | | | | | | 50 | |

| 9-00-117 | 事業内容 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | 平成24年度実績 | |
|----------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------------------------|-----|------|------------------------------------|--|--|-----------|-------------------------------|-----------------|
| 保健体育事務経費 (保健体育事務経費) | 借上車経費 その他事務費 | 借上車経費 その他事務費 | 借上車経費 その他事務費 | 借上車経費 その他事務費 | スポーツ関連事業の運営に欠かせない経費。 借上車の更新も必要。 | | | | | | | スポーツ関連事業の円滑な運営に欠かせない借上車の運行管理。 | 借上車経費 その他事務費 |
| | | | | | 成果指標 | | | | | | | | |
| | | | | | 平成24年度の評価 | A | | | | | 平成24年度の評価 | A | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 予定どおり事業を実施することができた。 | | | ワゴン車の更新を行い、事業を実施するうえで、最適な環境を整備できた。 | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費(千円) | 584 | 584 | 584 | | | | | | | | 573 | |